

No.35 >>> Contents

●提携支援センターから

純国産絹製品で新たな世界を開拓

..... 甲斐絹グループ代表 (株)甲斐絹座 代表取締役 前田 市郎 ————— 1

正月早々から「宝絹 (takaraginu) 展」を開催

..... 蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会 ————— 6

平成 25 年度第 5 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

————— 12

提携支援センター活動日誌

————— 14

●蚕糸絹情報

小山市の誇る伝統産業「本場結城紬」の振興を多彩に展開

..... 栃木県小山市 市長 大久保 寿夫 ————— 15

「富岡日記」おもしろエピソード

..... 中央蚕糸協会 調査員 田中 誠 ————— 21

●蚕糸絹トピックス

新しい岡谷蚕糸博物館の開館に向けて (2)

..... 市立岡谷蚕糸博物館 館長 高林 千幸 ————— 26

糸のまち岡谷の記憶を集めて

..... 市立岡谷蚕糸博物館 専門指導員 林 久美子 ————— 28

草木染研究会の発足

公益財団法人 群馬県蚕糸振興協会 日本絹の里染色講師 高橋 麻里奈 ————— 33

●国内情報

シルク遺産を訪ねて^⑭ はたや記念館ゆめおーれ勝山

..... 東京産業考古学会 副会長 平井 東幸 ————— 37

●イベント情報

————— 39

●純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧

————— 42

●蚕糸絹関係博物館一覧

————— 48

●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

————— 50

●統計資料 (統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。)

————— 51

純国産絹製品で新たな世界を開拓

甲斐絹グループ代表

(株) 甲斐絹座

代表取締役 前田 市郎

1 海外展示会への出展と海外販売

当社は、平成22年度地域中小企業海外販路開拓支援事業（経済産業省）の「甲斐絹の伝統を受継ぐ織物製品の海外展開支援事業」により2011年1月20日～25日までフランスのパリで行われた「メゾン・エ・オブジェ」展に出展したのを皮切りに、2012年8月に同展に新柄のストールを出展したところニューヨークのMoMA（ニューヨーク近代美術館）のデザインストアのバイヤーの目にとまり2012年の10月に東京で商談を行った。



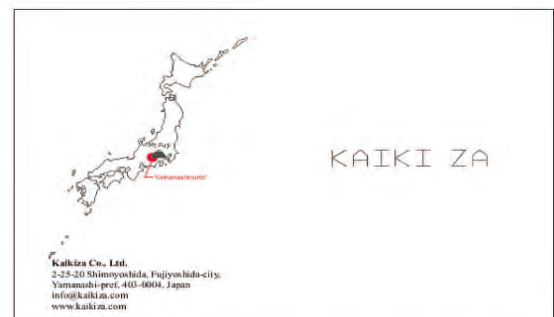
2013年2月に決定した2柄

ここで開発した新製品のストールは今までの玉虫無地シリーズから縞格子や縞などを使った柄のバリエーションを増やし、サイズも大きいサイズにしてストールとして

の完成度を上げた。

その結果、2013年9月より販売予定で2柄が採用された。

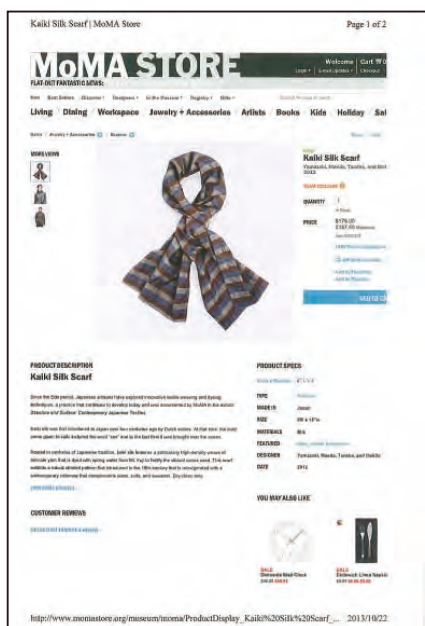
この製品は純国産絹マークの使用許諾を得ているため純国産絹マークを付けるのと同時に、英訳したマーク入りの葉作成し添付した。



この葉は単に英訳しただけで無く、最後に「This mark is recorded history product and registered by the Dainippon Silk Foundation」と明記されており海外

の消費者がこの製品を購入した際に、「日本製の生糸を使用した製品で、大日本蚕糸会に登録されている」ということがはっきりとわかる内容になっている。

MoMA デザインストアについては、2014年の春夏物のオーダーも入り、2014年の秋冬物も継続して商談中である。



MoMA デザインストアのWEB サイト

やはり、甲斐絹の持つ独特の柔らかさ・軽さは勿論のこと、その持つ歴史的・技術的背景に裏付けられた製品であるということと、原材料であるシルクの素性の確かさも採用の要因であると推測される。

2 純国産宝絹展へ出展

(於：1/2～7：伊勢丹新宿店・1/8～12：横浜高島屋)

2014年1月2日～7日まで、伊勢丹新宿店において、蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会主催の「純国産<宝絹>展」



純国産宝絹展 伊勢丹新宿店・7階呉服売り場が開催され、甲斐絹グループとして参加させて頂いた。



糸繰り機（純国産生糸の先染糸使用）

「1%が織りなす美」のキャッチコピーの元、総合ディレクターをファッションディレクターの山口壯大氏に依頼し「純国産絹使用若手クリエイターによるコラボレーション作品展」や、生きた蚕の展示、座繰りや地機織り、染色組紐など充実した様々な実演コーナーなど、期間中人が途切れることの無い人気の内容であった。

特に蚕の成長の様子や座繰りのコーナーは人気が高く、担当の係の方々は休む暇無

く対応に追われていた。

山口氏による「純国産宝絹すごろく」も養蚕から製品までの流れをわかりやすく表し好評であった。



山口壮大氏による展示パネル
(純国産宝絹すごろく)



山口壮大氏ディレクションによる伊勢丹新宿店1階
ステージでの日本の染と織 IKESHOKU 展

また、同時期に1階のステージでは同じく山口壮大氏ディレクションにて「日本の染と織」IKESHOKU 展が開催され、日本の伝統技法を受け継ぐ若手職人が、新たな和の世界を生み出した。

当社も甲斐絹の裏地作りを得意としてきた歴史を「甲斐絹の”うらづかい”」として山口氏がディレクションしたスカーフ・袱紗・風呂敷を開発した。

いずれの製品も無地と柄の2枚の生地を

斬新なタッチで表現し、今までに無い製品である。



甲斐絹座の袱紗・風呂敷・スカーフ



横浜高島屋・宝絹展の甲斐絹座の展示コーナー

引き続き1月8日～12日の日程で横浜高島屋に於いても「純国産＜宝絹＞展」が開催された。座繰りや染色組紐などの実演に加え、参加型のワークショップも開催され、好評を博した。

この2回の展示会を通じて、正しい情報を正しい場所での確に伝える重要性を痛感した。

3 EMAC (学生記者によるインタビュー集) に掲載



EMAC 創刊 2 号の表紙

MoMA デザインストアに製品が採用されたことが、地元の新聞等に掲載されたりしたことで、日本財団学生ボランティアセンター (GAKUVO) の学生記者によるインタビュー集の創刊 2 号に当社及び私の記事を掲載して頂いた。テーマは「都市を捨てよう」で、地方で頑張っているものづくりをしている方や、情報発信をしているの方々によるインタビューで、当社が富士東部北麓地域の同業者 4 社の協同出資の会社で、純国産絹で甲斐絹を復刻し海外にも通用する製品を作ったことが高く評価され、取材を受けるに至った。

やはり、純国産生糸で作ったスカーフは甲斐絹独特の光沢感や風合い感が取材スタッフの方々にも絶賛され、下記のような素晴らしい写真が純国産絹マークと共に記事の中に納められた。



内容の一部

この取材がきっかけで、日本財団学生ボランティアセンター (GAKUVO) ・センター長の西尾雄志氏 (早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター客員准教授) の授業「ワークキャンプ論」にゲストスピーカーとして呼ばれ、地域や甲斐絹のことについて学生に話す機会を与えて頂いた。

授業内容は GAKUVO のインターンの学生主体で行われ、3~4 人のグループを作り、最初に何も説明しない状態で国産絹のスカーフに触れてもらい、その印象を一人ずつ話してから、甲斐絹が作られてきた地域や織物について説明した。

非常に興味深かったのは、最初に製品に触れた印象がほとんど全員同じ意見 (柔らかい・軽い・優しい) だったことである。



早稲田大学の教室内の様子

当日私がゲストスピーカーであると言う

ことは学生は知らなかったもので、先入観無く素材に触れたと思う。やはり本物のシルクの風合いの発信力には驚いた。



講演する筆者

この一連の流れの中で本当に痛切に感じたことは、正しい情報をあらゆる段階で層厚く発信し、届けるべき場所に的確に届くように努力し続ける事の大切さである。

そのことにより、新たな世界を開拓する事に繋がっていくと思う。

当社の例で言うと、海外の展示会で商品だけでなくその背景も伝える情報発信の結果、ジャッジできるバイヤーの目にとまり商談が成立したこと、次にその情報をマスコミ等に発信し報道された結果、今回の雑誌の取材に繋がり、新たな媒体に掲載され、そのことがきっかけで、大学で情報の発信をさせて頂いた。

そういう意味では今回の「純国産＜宝絹＞展」は非常に意味のある第一歩と思う。

発信し続ける事により、今は1%でも、2%になれば倍になる。

今後もより一層質が高く層の厚い情報を

発信し純国産絹製品のさらなる価値向上を目指す努力を惜しまず続けることが大切だと思う。

最後に最近本当に気になることが有り、考えようによってはかなり深刻な事かと思う。

それは、今の学生の大半が自分が何を着ているのか分からない方が多いと言うことである。織物か編み物か、何の素材を着ているのか。絹なんてなおさらである。

そこで思っているのは純国産絹を教材として用い、小学生から使ってもらう事である。本物の絹に触れることにより、ポリエステルなどの化学繊維との違いも分かるようになる。絹を身近に感じ扱い方も覚えることにより、将来の賢い消費者を育てることになる。

国産繭も確実な需要を創造することにより、繭価の安定を図ることができ、養蚕農家の減少に歯止め一助になるかも知れない。これもある意味新たな世界の開拓である。

この数ヶ月の間に、MoMA デザインストアの商談、EMACの取材、純国産＜宝絹＞展参加、大学での話など、色々なことが本当に短期間に集中して起り、それも、世界有数の場所、超一流百貨店の1階ステージ、学生主体の全国的な媒体等々に純国産絹で作った当社の製品が出品、掲載されたこと、本当に関係各位のご指導ご鞭撻の賜と感謝致します。

甲斐絹の歴史と伝統に培われた製品が、世界にも通用することが証明出来たことに付いては自信と誇りを持ち今後とも鋭意努力していきたいと思えます。

正月早々から「宝絹 (takaraginu) 展」を開催

—新宿伊勢丹と横浜高島屋—

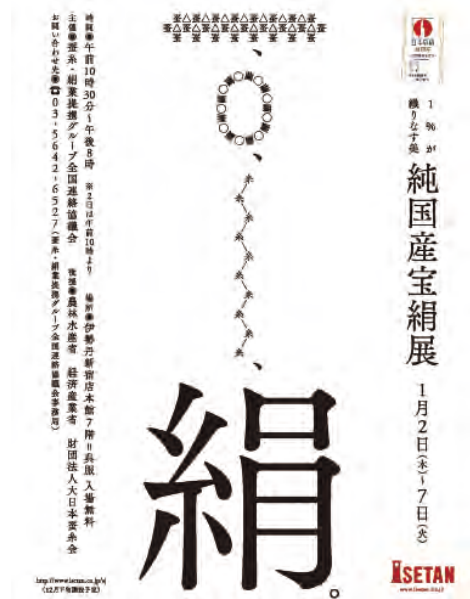
蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会

1月2日より新宿伊勢丹（7日まで）、8日より横浜高島屋（12日まで）と連続で休みなく展開しました。今回は、正月の顧客の来場が一番多い時期に展開しました。従来通り提携グループ製品を中心に生きた蚕等を展示し純国産のPRをしましたが、特に両店舗の特徴を生かした対症的な展開ができました。その一番わかりやすい例が開催告知ポスターです。ポスターの写真を掲載しますが、伊勢丹のポスターはファッションを意識したデザインであり、高島屋は絹の街横浜を意識した横浜らしいポスターです。会場の装飾、レイアウトも同じように良さを生かした展開ができました。連続での展開でしたが、メリハリがついてよいPRになったと思います。また、ご来店の顧客も伊勢丹と高島屋では、年代層、質問内容も異なり、幅広い顧客に純国産絹と製品のPRができました。来場客も多く成功裏に終えることができました。

以下に、各会場の展開内容を報告します。

1 新宿伊勢丹での展示会

平成26年1月2日（木）～7日（火）に、新宿「伊勢丹」の7階呉服売場を会場としました。



伊勢丹ポスター（写真）



高島屋ポスター（写真）

会場では、日本の蚕糸・絹業の現状を伝える「今」と、ファッションディレクターとこれからの絹製品のあり方を見せる「未来」を展開。



「今」展示会場製品陳列

「今」の蚕糸、絹業は、蚕の成長と世界に誇る日本の繭の展示（協力：蚕業技術研究所）を行い、来客の皆さまに「生きる蚕」の力を見ていただきました。

加えて、日本の文化技術の紹介として、



蚕の成長と世界に誇る日本の繭の展示

結城紬地機の製織（実演者：林 茜）、江戸組紐（実演者：林 茂樹）、座繰り、一粒繰り（協力：蚕糸科学研究所）を行いました。

また、蚕から絹が出来るまでをパネルで

「すごろく」として紹介。お客様にわかりやすく、見てよくわかるように努めました。



「すごろく」パネル

「未来」は、日本の伝統技術と新感性クリエイターによる純国産絹の作品（山口壮大氏（ファッションディレクター）と同氏のもと、若い感性に響く8人のデザイナーの作品群）を展示。



「未来」展示会場

宣伝媒体としては、B2ポスター（200部）、B5見開きリーフレット（5,000部）、DMはがき（10,000部）等を展開しました。

なお、新宿伊勢丹1階のステージでは、「日本の染めと織(クリエイター“IKESHOKU展”)」として伝統的産業をこれから担っていく若い職人(IKESHOKU= イケシヨク: イケメンの職人の略) が作り出した商品を連携して出品販売しました。

II 横浜高島屋での展示会

平成26年1月8日(水)～12日(日)に横浜高島屋の8階催事会場で開催しました。

ここでは、シルクの街横浜に合わせ、また、高島屋の要望もあり、横浜シルクパネル展を展開。繭クラフトをはじめ顧客参加型コーナーを充実し顧客の動員を図りました。シルク博物館からは、シルクの街横浜に関するパネルの借用、繭クラフト、真綿づくりの実演他多々ご協力いただきました。開催の準備として、高島屋、シルク博物館、大日本蚕糸会、協議会の5者による打ち合わせを数回行わせていただき、綿密な企画のもとに、顧客の動員もできPR成果を上げることができました。

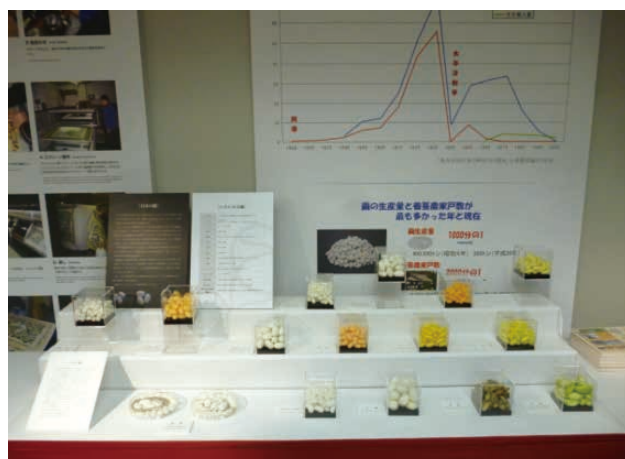
会場では、純国産絹「宝絹」の映像〈奇跡の糸ができるまで。ナレーション付〉を上映しました。

また、いろいろな品種の蚕1齢、3齢、5齢と世界に誇る繭の展示を蚕業技術研究所の協力を得て、実施しました。

ワークショップでは紅花染め(新田克比古)、組紐(今西淳也)、座繰り(蚕糸科学研究所)の実演を行い、お客様に好評を博しました。



生きた蚕の展示



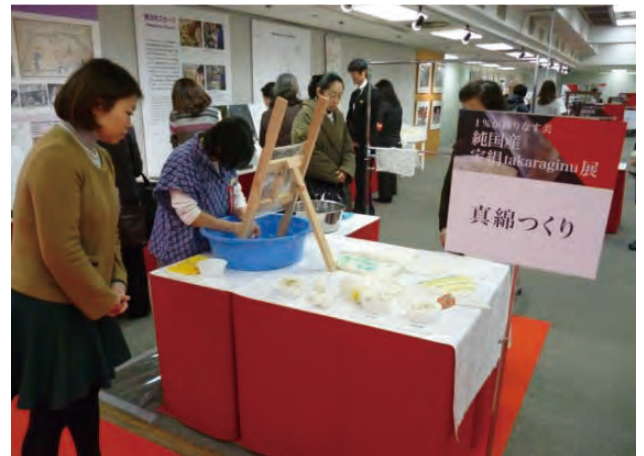
貴重な繭の展示



提携グループ製品展示



提携グループ製品展示



真綿づくり



座繰り



繭クラフトとシルクプレスネットワークショップ



パネル展示

一方、参加型ワークショップではシルクプレスネット（福田 隆）、一粒繰り（蚕糸科学研究所）、繭クラフト（シルク博物館）のコーナーをつくり、体験していただきました。

また、特別展示「シルクの街横浜の過去・現在・未来」では、シルク博物館、大日本蚕糸会の協力による写真パネル、シルクロード古地図他の資料展示を行いました。

宣伝媒体としては、B2ポスター（200部）、B5見開きリーフレット（5,000部）、

DMはがき（10,000部）、雑誌「美しいキモノ」「家庭画報」「七緒」に記事掲載、その他新聞折り込みチラシ、初めての試みとして電飾看板を使いました。



横浜駅電飾看板



電飾看板拡大

両店舗とも顧客の入りがよく、生きた蚕と繭の展示は相変わらず好評でありました。伊勢丹は今迄になくファッションを重視した展開を行ったので、会場でショール、傘に人気があり、宝絹展の脇で展開した甲斐絹の売り上げが予想以上でした。横浜は、折り込みチラシの効果がハッキリとあらわ

れました。参加型のワークショップの紅花ハンカチ染め、繭クラフト、組紐ブレスレットに予約が早くから入りました。また、高島屋によるきもの専門学校の講習が開店前に行われ展示品、実演、ワークショップ全般にわたり好評でした。



きもの姿で講習を受ける生徒のみなさん

二会場で共通して言えることは、顧客の絹への関心が高いことです。提携グループ出展の製品に対し両展とも質問が多くありました。特に高島屋は価格の問い合わせが多く、販売につながる可能性が大いにあります。蚕、繭、絹糸に対する高度な知識と研究、伝統技術の技量の高さのPRが顧客に本物志向となって表れてきているように思われます。販売拡大への施策として考えていきたいと思えます。お正月早々からの展示会への皆様のご協力有難うございました。

伊勢丹、高島屋への提携グループの皆様からの出展リストは別表のとおり。

<伊勢丹宝絹展>提携グループ出品リスト

グループ名	代表企業	品名	蚕種
結城紬風土31研究会	(株)小倉商店	結城紬	朝・日×東・海
西陣純国産絹振興会	西陣織工業組合	シルクマフラー	鐘秋×鐘和
純日本の文化研究会「松岡姫」グループ	(株)伊と幸	色無地縫一紋仕立て上がり	松岡姫
純国産絹振興会「きぬなり」	織匠万勝	織袋帯	春嶺×鐘月
絹の会ぐんま200プロジェクト	絹の会	組紐(綾竹、重打)龍工房	ぐんま200生繭
日本絹文化振興会	(株)丸上	色無地 おおにし	鐘秋×鐘和
松澤製糸紬工房の会	松澤製糸所	手描き友禅 付下	春嶺×鐘月
信州ブランド織物振興会	(有)シンセイ	薄二重織スカーフ	春嶺×鐘月
伊達天蚕推進研究会	りょうぜん天蚕の会	天蚕紬ハンドバック	天蚕野生種
宮坂製糸シルク工房の会	(株)宮坂製糸所	八寸名古屋帯	春嶺×鐘月
富岡シルクブランド協議会	富岡シルクブランド協議会	ストール	ぐんま200
白繭細一号プロジェクト開発チーム	(株)マルシバ	白生地	白繭細一号
高原社蚕種の会	(株)高原社	蚕飼育セット	錦秋×鐘和

<高島屋宝絹展>提携グループ出品リスト

グループ名	代表企業	品名	蚕種
甲斐絹グループ	甲斐絹座	ストール、スカーフ、ネクタイ	春嶺×鐘月、鐘秋×鐘和
玉小石牛首紬研究会	大門屋	玉小石 牛首紬	玉小石
純国産絹振興会「きぬなり」	織匠万勝	先染着尺 袋帯 紹巴	春嶺×鐘月
西陣純国産絹振興会	西陣織工業組合	シルクマフラー	鐘秋×鐘和
碓氷製糸シルク工房の会	碓氷製糸農業協同組合	白生地	あけぼの
		天使の翔、絹娘、枕カバー	ぐんま200
純日本絹文化協会「松岡姫グループ」	(株)伊と幸	松岡姫色無地	松岡姫
日本の絹文化振興会	(株)丸上	訪問着、着尺、染帯	鐘秋×鐘和
宮坂製糸シルク工房の会	(株)宮坂製糸所	八寸名古屋帯	春嶺×鐘月
奄美島絹振興研究会	奄美島絹推進協議会	大島紬、訪問着、着尺、袋帯	奄美黄金繭 春
		大島紬	春嶺×鐘月
富岡シルクブランド協議会	富岡シルクブランド協議会	ブラックフォーマル	ぐんま細・絹紡
		富岡紋織	ぐんま200
日本の絹を守る会	西陣まいづる	西陣錦地袋帯	春嶺×鐘月
信州繭ブランド織物振興会	(有)シンセイ	薄二重織リスカーフ	春嶺×鐘月
松澤製糸紬工房の会	松澤製糸所	健康腹巻	春嶺×鐘月
		手描き友禅付け下げ	
絹の会ぐんま200プロジェクト	絹の会	組紐(貝ノ口、平唐組)龍工房	ぐんま200生
千總純国産絹製品販売・商品開発グループ	(株)千總友仙工場	京友禅手描き振袖	春嶺×鐘月、鐘秋×鐘和
結城紬風土31研究会	(株)小倉商店	結城紬	朝・日×東・海
白繭細一号プロジェクト開発チーム	(株)マルシバ	打ち掛け	白細一号
日本蚕糸絹業開発協同組合国産シルク研究会	日本蚕糸絹業開発協同組合	愛おくるみ	群馬県内養蚕農家
邦楽器使用特殊生糸を守る会	丸三ハシモト(株)	琴糸、ミニチュア琴三味線	春嶺×鐘月
伊達天蚕推進研究会	りょうぜん天蚕の会	天蚕紬ハンドバック	天蚕野生種
日本の繭ときもの文化を考える会	田中種(株)	型小紋、ニット洋装製品	春嶺×鐘月、鐘秋×鐘和
東京シルクの会	(有)内海呉服店	江戸小紋	鐘秋×鐘和
高原社蚕種の会	(株)高原社	蚕飼育セット	鐘秋×鐘和

平成 25 年度第 5 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの平成 25 年度第 5 次審査会を平成 26 年 1 月 27 日（月）に開催しました。今回は、7 者から申請があり、使用許諾されている者の 2 者が製品の追加 5 品目、1 者が生産履歴の追加 2 品目と数量の追加 3 品目、4 者が数量の追加 5 品目を審査委員会で審査した結果、7 者に対し、2 月 3 日（月）付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(製品の追加) 田中種株式会社 代表者名：田中隆 (担当者：田中隆) 大阪市中央区南本町 2-1-8 創建本町ビル 3 階 Tel：06-6261-2091 表示者登録番号 060	先染反物 (綾の手袖)	50 反	繭生産 製糸 撚糸 精練・染織 JA につたみどり管内養蚕農家 碓氷製糸農協 昭和撚糸工業 (株) (株) あきやま
	ニット (ネックウォーマー)	80 枚	繭生産 製糸 撚糸 精練 製編・縫製 JA につたみどり管内養蚕農家 碓氷製糸農協 昭和撚糸工業 (株) (株) 山嘉精練 高井ニット (株)
	ニット (レッグウォーマー)	60 枚	
	ニット (腹巻)	60 枚	
(製品の追加) 富岡シルクブランド協議会 代表者名：岡野光利 (担当者：長谷川直純) 群馬県富岡市妙義町上高田 1206 Tel：0274-62-1511 表示者登録番号：138	マフラー (手織り)	120 枚	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 富岡シルクブランド協議会 養蚕農家 製糸 染織 (株) 宮坂製糸所 岡谷絹工房
(数量の追加) 日本蚕糸絹業開発協同組合 代表者名：小林幸夫 (担当者：土井芳文) 群馬県高崎市問屋町三丁目 5 番地の 3 Tel：027-361-2377 表示者登録番号：021	裏地 (胴裏)	407 枚	制作企画 絹小沢 (株) 繭生産 群馬県内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 山直織物 (株) 精練 (有) 江島屋染工場 仕上加工 絹小沢 (株)
(数量の追加) 株式会社小倉商店 代表者名 小倉敏行 (担当者：小倉進吾) 茨城県結城市大字結城 116 番地 Tel：0296-32-2121 表示者登録番号：041	先染反物 (結城紬)	90 反	蚕品種 朝・日×東・海 繭生産 JA 伊達みらい管内養蚕農家 真綿生産 (有) 関根商店 手袖糸生産 自社 染織 自社
	先染帯地 (結城紬)	30 本	

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)	
(履歴の追加、数量の追加) 株式会社加藤萬 代表者名 加藤健治 (担当者：井口通太郎) 東京都中央区日本橋富沢町 2-6 Tel：03-3661-7747 表示者登録番号：129	(履歴の追加) 和装小物(帯揚) A	200本	蚕品種 繭生産 製糸 製織 染色 金彩 刺繍	ぐんま 200 JA 碓氷安中管内養蚕農家 碓氷製糸農協 (株) 一色テキスタイル 染の川津 金彩綾錦殿村 いっけい
	(数量の追加) 和装小物(帯揚) B	100本	蚕品種 繭生産 製糸 製織 染色 金彩	ぐんま 200 JA 碓氷安中管内養蚕農家 碓氷製糸農協 (株) 一色テキスタイル (有) 河添染工 金彩綾錦殿村
	(数量の追加) 和装小物(帯揚) C	100本	蚕品種 繭生産 製糸 製織 染色	ぐんま 200 JA 碓氷安中管内養蚕農家 碓氷製糸農協 (株) 一色テキスタイル 染の川津
	(数量の追加) 和装小物(帯揚) D	150本	蚕品種 繭生産 製糸 製織 染色 金彩	ぐんま 200 JA 碓氷安中管内養蚕農家 碓氷製糸農協 (株) 一色テキスタイル 染の川津 金彩綾錦殿村
	(履歴の追加) 和装小物(帯揚) E	150本	蚕品種 繭生産 製糸 製織 染色 刺繍	ぐんま 200 JA 碓氷安中管内養蚕農家 碓氷製糸農協 (株) 一色テキスタイル 染の川津 いっけい
(数量の追加) 有限会社山田呉服店 代表者名 山田恒 (担当者：山田恒) 長野県諏訪市諏訪 1 丁目 3 - 4 Tel：0266-58-0694 表示者登録番号：174	白生地(表地)	25反	繭生産 製糸 製織	JA 信州諏訪管内 牛山 金一 松澤製糸所 南久ちりめん(株)
(数量の追加) 有限会社 シンセイ 代表者名 清水武彦 (担当者：清水武彦) 長野県松本市大字中山 4690 Tel：0263-86-6700 表示者登録番号：180	ニット(腹巻)	150枚	繭生産 製糸 製編・縫製	JA ちちぶ管内養蚕農家 松澤製糸所 上島産業(株)

年月日	活 動 内 容 等
26.1.2 ~ 26.1.7	純国産宝絹展（新宿 伊勢丹）
26.1.8 ~ 26.1.12	純国産宝絹展（横浜 高島屋）
26.1.22 ~ 26.1.23	平成 25 年度いばらき養蚕農家研修会への出席（群馬県）
26.1.27	純国産絹マーク審査委員会（東京都有楽町 蚕糸会館）
26.2.3	「和の空間」オープニングセレモニー（農林水産省）
26.2.6	福島県養蚕振興セミナーへの出席（福島県）
26.2.12 ~ 26.2.13	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に係る蚕種等関係者との打合せ（愛媛県）
26.2.27	蚕糸・絹業提携システム全国推進協議会（東京都有楽町 蚕糸会館）



正月早々にぎわう純国産宝絹展（新宿伊勢丹にて）

小山市の誇る伝統産業「本場結城紬」の振興を多彩に展開

栃木県小山市

市長 大久保 寿夫

本場結城紬の産地、栃木県小山市では、結城紬が平成 22 年 11 月 16 日にユネスコ無形文化遺産に登録されたことを本場結城紬産業復興の好機と捉え、平成 23 年度から購入費助成制度の創設や市本場結城紬振興調査推進協議会での新製品開発、着心地無料体験の実施等の振興策に取り組んでいます。

平成 25 年 3 月には「小山市本場結城紬復興振興 5 カ年計画」（以下「復興振興 5 カ年計画」という。）を策定し、産地関係者と行政が一体となって本場結城紬産業の活性化に向け新たな振興策を展開しています。その取組みの一部をご紹介します。

■小山市本場結城紬振興調査推進協議会の取組み

平成 23 年度から学識経験者、生産者、商工会、広報・販売関係者で組織する協議会を設置し本場結城紬の活用促進を目的に調査研究を行っています。現在までの活動経過は次のとおりです。

平成 23 年度 本場結城紬の新たな活用方法の調査研究—洋服用生地の開発

着物離れによる需要の落ち込みを打破するために、洋装での活用を研究し、経緯双方の手つむぎ糸に特殊な撚りをかけ、本場結城紬の風合いはそのままに、摩擦に強く毛羽がたちにくい反物の製作に成功し、平成 25 年 12 月までにスーツ、ジャケット合計 33 着を販売しました。



平成 24 年度 復興振興 5 カ年計画の策定

本場結城紬産業の真の活性化のためには、産地と行政が一体となって振興策を講じることが急務であるとの考えから、魅力ある質の高い商品開発、時代に即した生産体制への見直し、後継者の確保・育成を基本方針としたアクションプランを策定しました。

平成 25 年度 小山産繭からの純国産一貫生産体制の構築

復興振興 5 年計画に基づき、今まで本場結城紬の原材料としては使用されていなかった、地元小山市産繭を活用した本場結城紬生産体制の構築を目指し、試作品の製作に取り組む等、第一歩を踏み出しました。

今後は、より円滑な流通ルートを確保するよう関係機関と協議を行い、地元小山産繭を原料とする真綿の確保に努めていきたいと考えています。

■後継者確保・育成への新たな取り組み～市職員「紬織士」の採用

市では、復興振興 5 年計画に掲げる「後継者確保・育成」の重点的施策に基づき、本場結城紬の技術を学ぶ意欲ある人材を積極的に受け入れ育成するために、本場結城紬の伝統技術の習得を専門に行う職種「紬織士」を新たに設け、平成 26 年 4 月から採用することを決定しました。採用試験では、採用予定が 1 人という狭き門に、市内外から男女 23 人の応募があり、伝統技術継承への関心の高さが伺えました。また、このことから、安定した収入が得られれば、後継者は自ずと現れるという事が証明され、本場結城紬産業の復興振興へ向け目指すべき姿が「生業として成り立つ産業基盤の確立」であることが明確に示されたと考えています。



市職員採用試験説明会

産地と連携した後継者育成の取組み

紬織士として採用された市職員は、栃木県紬織物技術支援センター（以下「センター」という。）及び栃木県本場結城紬織物協同組合（以下「栃織協」という。）の協力で技術指導を受けます。センターで本場結城紬の歴史や特徴、器具類の使い方等の指導を受けた後、栃織協で推薦された織元の家で技術指導を受け、4 年をかけて全てが手作業の、約 20 種類の本場結城紬製作工程を学びます。



糸つむぎ



緋くくり



地機織り

紬織士の役割

もちろん4年間というわずかな期間では1人前にはなれませんので、紬織士はその後センターや栃織協の協力の元、技術の研鑽に励み、将来的には指導者となって後進の育成指導に努めることで、確実に技術が伝承されるという仕組みです。また、紬織士は、産地と行政が一体となって振興策に取り組むための重要なパイプ役となるとともに、イベントでの実演等を通じて本場結城紬の魅力を発信する本場結城紬普及宣伝の広告塔としての重要な役割を担うことになります。

■きもの文化の復興に向けた取り組み

復興振興5カ年計画で示されている重点課題のひとつに「産地資源として地産地消の促進」があります。これは、本場結城紬の産地でありながら、本場結城紬を着用する人が少ないという指摘です。そこで、市では本場結城紬の需要を拡大するためには、まず着物の着用を促進することが必要であると考え、きもの文化の復興へ向けた取り組みを強化しています。

小山きもの日

昨年11月16日に結城紬がユネスコ無形文化遺産登録3周年を迎えたことを記念して、「きもの」を着るといい(11)こと、いろ(16)いろなイベント「小山きもの日」を開催しました。当日、思い思いの着物を着て市内外から来場された方々は、当初の予想を上回る250名にもものぼり、洋服で来場された方を併せると約500名の方が、はじめての「小山きもの日」を堪能されました。



記念事業実行委員長（小山市長）式辞



きもんで来場された方々

記念式典では、ユネスコ無形文化遺産「本場結城紬」の産地である小山市において、日本文化の象徴とも言える「きもの文化」を見直し、「きものまち小山」を目指し積極的に着物を着ようと「きもの界」「経済界」「市職員」の代表者が、それぞれ「決意表明」を行いました。また、会場では「琴・尺八演奏」や「着物ミニファッションショー」、着物スタイリ

ストとしてテレビや雑誌で活躍中の石田節子先生をお招きしてのトークショーが行われた他、着物で来場された方全員に小山ブランド商品券と本場結城紬ストラップをプレゼントする等着物愛好者にお得なイベントとなりました。



決意表明



着物ミニファッションショー

小山市女性職員着付け隊の誕生

たくさんの着物での来場者で賑わいを見せた「小山きもの日」ですが、この初めての催しに一役買ったのが「小山市女性職員着付け隊」（以下「着付け隊」という。）です。着付け隊 17 名は、市の誇る伝統産業「本場結城紬」の普及拡大に率先して取り組もうと、昨年 5 月に結成されたボランティアグループです。本場結城紬の生産減少が続く中、市職員が積極的に着物を着ることで市民が着物を着やすい環境をつくろうと、勤務時間終了後に約 2 時間、月 2 回のペースで「着付け講座」を自主的に受講し、「小山きもの日」では、無料着付けサービスや受付業務で活躍しました。着付け講座は昨年 12 月で全 15 回のカリキュラムが終了しましたが、着付け隊は「今後も市民の皆さんに着物文化を広めたい。いろいろな場面で着物を着るためのお手伝いをしていきたい。」と推進役を担う決意を新たにしており、今後も本場結城紬振興の先遣隊として活躍を期待しているところです。



着付け隊による無料着付けサービス



着付け隊による受付の様子



おもてなしの店でサービスを受ける参加者

小山きもの日応援団

小山きもの日を盛り上げてくれたのは、小山市女性職員着付け隊をはじめとする「小山きもの日応援団」です。無料着付けサービスを行うにあたり、着付けボランティアを募集したところ、市内外から25名の応募がありました。また、着物を着たお客様が立ち寄った際に様々なサービスをしてくださる「おもてなしの店」を募集したところ、呉服店・飲食店を中心に43店舗もの協力を得ることができました。着物でおもてなしの店を回ると、シールを集めて豪華賞品が当たるプレゼントに応募できる特典もあり、参加者からは「楽しい企画だった」「着物を着ていける場の提供は嬉しい」などの声をいただきました。

結城市との連携

今回の「小山きもの日」では、同じ本場結城紬の産地であります茨城県結城市の「きもの day 結城」に参加するツアーを実施しました。結城市とは、隣り合わせの同じ産地でありながら県が違うこともありこれまで連携した事業の実施は行われておりませんでした。今回の交流を機に今後はより一層連携を強めていきたいと考えています。



「きもの day 結城」の抽選会

正月仕事始めでの着物の着用推進

小山市では昨年から市職員に対し、仕事始めは事務支障のない範囲で積極的に着物を着て業務に当たるように呼びかけています。このこともまた、市民に対して着物の着用推進をPRすることで、本場結城紬の需要を掘り起こそうという取組みのひとつです。今年の仕事始めには、昨年の倍近い約60名の職員が着物で出勤し、業務に先立ち行った「全職員集会」で「小山の良さ発信」を誓いました。



■今後の展望

小山きもの日を通じて、改めてたくさんの方に着物の魅力を発見していただけたと思います。着物を身近により多くの方に気軽に着ていただけるように、今後も着物の着用機会を創出していきたいと思えます。また、小山産繭の活用をはじめ、産地と行政が一体となって魅力ある質の高い商品開発に努めるとともに、着物の着用促進を、本場結城紬の需要拡大に繋げるために、消費者の手の届きやすい時代に即した流通体系への改善も視野に入れ、販売店等との連携を図っていきたくと考えています。

シルク関連の様々な産業の発展を願いながら、今後も、世界の「宝」となった小山市の誇る伝統産業「本場結城紬」の復興振興策に強力に取り組んで参ります。

【問い合わせ先】 小山市工業振興課結城紬振興担当 TEL：0285-22-9397

「富岡日記」おもしろエピソード

中央蚕糸協会

調査員 田中 誠

電車に乗っていたらユニフォームを着た運動部の女子中学生か高校生が一斉に乗り込んできた。ワイワイ、ガヤガヤ、楽しそうにおしゃべりしまくっている。明治のはじめ富岡製糸場に送り込まれた女性たちはちょうどこの女子学生たちのような雰囲気だったのだろうと、「富岡日記」を読み終えたばかりの筆者は直観したのであった。

富岡製糸場は明治5年（1872年）、現在の群馬県富岡市に明治政府により官営工場として設立された。その目的は、当時の輸出主力商品であった生糸（総輸出額の約5割）の生産増強、品質高度化のための模範工場の設立であった。

したがって、全国から工場に集められた女性たち（「工女」と呼ばれた。）は、単に労働力として集められたのではなく、高度技術の取得により全国の製糸工場にその技



写真2 和田英さん

術を普及すべき模範となることを期待して集められたのであり、送り出す側も帰国してからの地元への貢献を期待して送り出したのであった。だから彼女たちは強い使命感を持って積極的に技術を学ぼうという意欲に燃えていたのであり、ある種のエリート意識を持つ女性たちだった。

「富岡日記」（正確には「明治6、7年松代出身工女富岡入場の略記」）はそういう彼女たちのひとり・和田英が明治40年になって当時の思い出を記したものである。このため「富岡日記」は彼女たちの使命感、誇りなどがよく表われたものとして紹介される。

しかし、ティーンエイジャーが中心だっ



写真1 富岡製糸場全景の錦絵

た彼女たちである。その彼女たちの姿は決して単純な優等生像に還元できるものではない。「富岡日記」は女性たちの若さいっぱい多様な姿、自然な思いが生き生きと描かれている。おもしろいエピソードも盛り沢山なのである。

そういうエピソードのいくつかを紹介しようと思う。

その1 工作中的遊び

製糸場入場の当初、信州松代から来た彼女たちは、まず繭の選別作業に従事させられる。これは繭を生糸にできるものとそうでないものに分ける作業である。形のおかしい繭、傷ついた繭、汚れた繭などを排除しないと機械で繭から生糸を引き出す作業（繰糸作業）が滞ってしまう。それを防止するための繭の選別（選繭作業）を行うのである。

重要な作業ではあり、厳しく指導されるが、作業自体は単純な作業であり、飽きてくるし、屋内の温かな場所での作業なので眠気を催してくる。

そこで始まったのが蠅を使った遊びである。

蠅を捕まえる。その羽をもぎ取る。蠅の背中にわらしべを刺す。そこに繭のわたをより付けて蠅に繭を運ばせる。わらしべに小さな紙をつけて旗のようにしたりもする。

一同笑って楽しんでいたが、監督者に見つかり、誰が始めたのかと問い詰められるのだが、知りませんと一同しらを切るの

ある。

その2 なまりがわからず外国人と誤認

全国から集まっているし、町の出身もあれば村の出身もいる。お互いにお国なまりがよくわからない。また行儀という点でもずいぶんとレベルの違いがあったもようである。信州出身者の行儀が悪く、恥ずかしいので、町出身の自分たちは信州出身とは言わずに長野県松代出身と言っていたという。

これは「富岡日記」に記されているものではないが、山口から入場した者が残した談話には、製糸の先生に西洋人で「エンドウオコウサン」という人がいたという。

富岡製糸場にいた外国人指導者はフランス人である。宮城県から「遠藤こう」という人が富岡製糸場に来ていた。山口出身者には東北弁がチンプンカンプンで、「遠藤こう」をフランス人だと間違えていたのである。

その3 長州出身者優遇への反発

繭の選別（選繭作業）に従事させられた彼女たちであったが、覚えたい技術の中心は機械で繭から糸を引き出す作業（繰糸作業）であった。監督者に繰糸を早くやりたいと催促し、目途を尋ねると、近々長州から40名ほどの新規入場者が来る、その時には選繭作業は彼女たちにやらせる、あなたたちを繰糸作業のほうに回すことができる、と言われる。

その言葉を頼りに選繭作業に精を出して

いると、長州からの入場があり、いよいよと待っていたが音沙汰がない。何と新参の長州出身者は選繭作業に従事することがなく、繰糸作業の指導を受けていたのである。

彼女たちはこれはえこひいきだと泣いて抗議し、激しく監督者に迫る。フランス人教師が間違えたのだと監督者は苦しい弁明をする。実際は薩長藩閥政治の力が背景にあったのだと考えられている。

その4 宮廷官女の厚化粧

明治6年6月富岡製糸場に皇太后（明治天皇の母親）、皇后の行啓があった。その前日に女官の下検分があった。やんごとなき世界をはじめて見る工女の彼女たちは興味津々で、実に細かく観察をする。そして、女官がおしろいを塗りまくった真っ白の厚化粧であることにみんな笑ってしまうのである。

このことに対して厳しい叱責がなされ、行啓当日に笑いが出たらただではすまないと言われ彼女たちは警告を受けることとなる。

その5 パワハラ、セクハラ

皇太后、皇后の行啓終了後、お酒の下賜があり、祝宴が開催される。その祝宴の中で信州出身者に盆踊りのリクエストが製糸場幹部から出される。断りつつも結局踊りを披露する羽目になってしまう。これがこれで終わりとはならず、このことをきっかけに、製糸場に遠方から来客の場合、接遇のために盆踊りの披露を幹部が要求するようになる。彼女たちも抵抗しきれない。「こ

んな馬鹿馬鹿しいことはありません」と日記に書かれている。

昔から男性幹部の女性従業員に対する所行は変わらぬものだ。このような業務外命令はいまならセクハラ、パワハラだとして問題になるのは必至だろう。

その6 業務外での長州出身者との角逐

夏場の健康増進のため夕方から9時ごろまで盆踊りが行われるようになり、大勢力の信州出身者（工女約600名中約200名）が中心となる。これに対し長州出身者約50名が対抗して踊りを始める。それは盆踊りではなく、なかなか優雅な踊りだったようである。この長州の踊りに対して、薩長藩閥政治の下で長州寄りの姿勢を示す工場側が、信州に対してはなされることなかった高張提灯を仕立てるというサービスをする。特別な照明をしたわけだ。これに反発する信州勢は盆踊りをやめて、部屋に引きこもってしまうのである。引きこもりは途中でやめることになるが、信州勢は踊りはもう踊らないのである。

その7 一等工女指名の大騒ぎ

一等工女の月給は1円75銭（現在価値約1万4千円。ただし、食費、住居費、医療費等は工場持ちなのでほぼ全額が小遣い。また夏冬の服料（今のボーナス）として5円の支給があった。2等、3等も同じ。）二等工女は1円50銭（約1万2千円）、3等工女は1円（約8千円）。この指名が彼女たちひとりひとりを呼び出して伝えられ

る。なかなか呼び出しがかからないものは、泣き出したり、えこひいきだと言い出したり、美人が選ばれているなどと騒ぎ出すことになるのである。結局、幸いにも一緒に入場した一行 14 名のうち病気帰国の 1 名を除く 13 名が一等工女となり、大笑いになったそうだ。

その 8 おばけ

当時は電灯がない。部屋からトイレまで距離もあり、行灯があるがとても暗い。塀の上に生首があった、トイレの中でけものが首を出した、空き部屋に青い火が点っていた、などといううわさが起こるのであった。今でも学校などで発生しがちな集団狂気現象が全寮生活を送る彼女たちにもあったのだ。

その 9 素人芝居

製糸工場内食堂のまかないの人たちが素人芝居を披露することがあったが、それは事件だった。工場側の事前の了解を取り付けることなく、まかないの人たちが勝手に工場内に舞台を設定し、工女たちを観客に、男女の逃避行の歌舞伎芝居を実施したのだ。その舞台に管理者側の人間が登場する。この人たちまでも芝居に出演するのかと思っていたら、管理者側の人たちは役者を殴り飛ばして、ののしって出ていったという。この件でその後いろいろ面倒があったようだが、工女たちは芝居がなくなって大失望だったそうだ。

その 10 美人揃い

お花見があった。場所は「一ノ宮貫前神社」。工女たちは若いばかりでなく、日頃は屋内作業で日焼けはなく色白で、しかも蒸気充満の作業場はお肌にもよかったはず。さらに毎日入湯だし、身だしなみもしっかりしている。「髪の毛の艶、顔の色、実に美しい事で」、一般の市中の婦人たちとは比べものにならなかった。「別嬪さんが沢山おられました」そうだ。彼女たちの集団お花見はさぞや壮観であったろう。

その 11 借金

現金を使ったことなどない娘たちが突然、全額を小遣いにできる月給をもらうようになって、贅沢な金遣いを覚えてしまう。呉服、帯、小間物などが彼女たちの欲望を刺激した。松代に製糸工場ができて、いよいよ彼女たちが帰国することになったとき、5 円、6 円（現在価値 4～5 万円）という借金のある者が続出、中には 10 円（約 8 万円）の借金を負った者もいたという。国元から彼女たちを迎えに来た者が何とかそれを立て替えた。富岡製糸場長尾高惇忠から「帰りは東京見物でもさせてあげるように」とのことばがあったが、このため東京見物は高崎見物になってしまった。これにとどまらず帰国の旅は旅費不足で、迎えに来た者はずいぶん苦勞する羽目になったようだ。

その 12 凱旋

いよいよお国入り。各人、富岡で覚えた

おしろいで厚化粧、メンバーの格差があらわれなように服装を統一、人力車 17 台を連ねて帰国したのであった。地元はびっくり、村々を通るたびに人手が出て両側に人垣を築いたという。若き富岡工女のプラ

イドはいや増しに高まったことであつたらう。

*写真 1 と 3 は、群馬県蚕糸園芸課提供。

*写真 2 と 4 は、群馬県文化事業振興会の許可を得て掲載しております。



写真 3 富岡製糸場の東繭倉庫



写真 4 筆者が読んだ富岡日記

新しい岡谷蚕糸博物館の開館に向けて（2）

—平成26年8月1日 開館—

市立岡谷蚕糸博物館

館長 高林 千幸

市立岡谷蚕糸博物館は、昭和39年10月15日に開館して以来、江戸末期から現代に至る蚕糸に関する機械類や資料等約3万点を保存・展示するわが国唯一の博物館として、多くの皆様にご利用頂いてきました。前号で述べたように、岡谷市民病院建設に伴い、これまであった地から旧農業生物資源研究所生活資材開発ユニット（岡谷市郷田）の建物へ移転し、そこをリニューアルして博物館として活用することとなりました。平成26年8月1日の開館に向けて、準備を進めているところです。今回は工事の進捗状況と新しい岡谷蚕糸博物館の役割について述べます。

工事の進捗状況としては、1月下旬に外構工事に着手し、昭和23年にこの地に開所された農林省蚕糸試験場製糸試験所のノコギリ屋根の実験棟をモチーフにしたファザード（建築物正面外観）の基礎工事を進めています（写真1、外観の概念図は前号で示しました）。ミュージアムエリアの内装工事は殆ど完成し、動態展示として㈱宮坂製糸所からの製糸機械類の移設・設置が完了し、機械類の配管・電気工事等を進めています（写真2）。

新しい岡谷蚕糸博物館での活動方針と役



写真1 ミュージアムエリア・ファザードの基礎工事
（1月下旬撮影）

割を図2に示します。

博物館の使命としての資料の収集・保存・展示、調査・研究は、博物館活動の基本として従前通り進めて行きます。

新蚕糸博物館では、岡谷市内の㈱宮坂製糸所の生産設備を総て博物館内に移し、工場での生産工程を直に見ていただくとともに、見学者自らも繰糸体験ができる動態展示ゾーンを設けることを大きな特徴としています。岡谷で作った糸で製品を作り、岡谷シルクブランドを発信していきます。将来的には自分自身でオリジナルな糸を作り、染織できる施設にしていきたいと計画しています。

また、これまでも取り組んできましたが、



写真2 ミュージアムエリア内動態展示ゾーンでの
繰糸機械類の設置工事（1月下旬撮影）

カイコ・繭・糸を通じた子供たちへの体験学習や地域の皆さんとの生涯学習をより充実させ、養蚕から製品までの一貫した学習活動をこの地域で行えるような施設にしていきたいと思っています。

地域に育つ子供達が、小さい頃から一度はカイコ・繭・生糸に接し、昆虫の生態を

学びながら、ものづくりの精神が養われる施設づくりをめざします。

平成19年に経済産業省より近代化産業遺産として岡谷市内15カ所の建造物、機械・資料類が認定されました。館内にそれらを紹介するコーナーを設け、産業遺産群を巡るコースを設定し、先人の築いてきた偉業に触れていただく「まちじゅうが博物館」構想も進めています。

蚕糸業態の変遷とともに、昨今では蚕糸に関する研究者・技術者が少なくなってきました。博物館でどれだけのことができるのかわかりませんが、これまでの研究・技術業績を保存し、それを有効に活用できるようにしていきます。特に製糸技術については、動態展示を有効に活用し、これまで築き上げた世界に冠たる技術を継承し蚕糸業界へ貢献していきたいと思っています。



図2 新しい岡谷蚕糸博物館の役割

糸のまち岡谷の記憶を集めて

—高齢者学級などへの出前講座活動—

市立岡谷蚕糸博物館

専門指導員 林 久美子

明治・大正・昭和の時代、日本の近代化を推し進めた製糸業。その一大拠点としての歴史を色濃く残す長野県岡谷市にある岡谷蚕糸博物館は、長野県指定有形民俗文化財である442点の蚕糸コレクションをはじめとした3万点もの蚕糸機械器具類や関係資料を収集・保存・展示し、活用しています。これらの資料から、私たちは先人たちの遺徳をしのび、多くの蚕糸業の歩みを知ることができます。

現在は平成26年8月1日のリニューアルオープンに向けて休館準備中ですが、博物館活動は休むことなく進んでいます。

博物館として、資料の収集・整理、保管・保存、展示・活用、調査研究等は核となる

ものですが、岡谷蚕糸博物館では、地域の保育園や小中学校への学習活動・教育普及活動等も積極的に取り組んでいます。

また、大学生や地域の方たち・高齢者への生涯学習や社会教育の場としてもご利用いただき、養蚕や糸取り体験、まゆや生糸、真綿や糸を使った工作、歴史学習等、カイコに始まる幅広い活動の中で、シルク全般を通してさまざまな世代の方へのアプローチを展開しています。

この稿では、高齢者への活動をご紹介します。

高齢者学級などへの出前講座

総務省統計局のデータ（平成23年9月



子どもたちへの学習活動
(岡谷市長地小学校ランプシェードづくり)



お蚕様を見ると養蚕の話に花が咲く
(岡谷市西堀地区イキイキデイ)

15日)によると、日本の75歳以上の高齢者人口は1480万人、総人口に占める割合は11.6%で、80歳以上は866万人(同6.8%)となっています。昭和初期もしくはそれ以前に生まれた世代の人々の活動の場として、現在、各市町村での高齢者学級や、老人ホーム・託老所のデイサービスなどがあります。私たちは要請に応じて、これらの施設などへ、まゆ人形づくりやシルクの話などの出前活動を行っています。



写真を見ながら当時の様子を語る
(岡谷市新屋敷地区イキイキディ)

お蚕様と糸のまちのようす

昭和の初期の岡谷のまちは、日本一製糸工場の煙突が立ち並び、繭を煮る蛹の匂いがあちこちに漂い、繰枠の回る音がどこからも聞こえるまさに「糸のまち」でした。そのまちに生まれ育った人たちには、カイコは「お蚕様」として身近であり、繭から生糸をつくる製糸は日常的に行われていました。

80歳代、90歳代の利用者や参加者は、この地方に生まれ育ち、製糸業隆盛期を知

る人がほとんどです。昔ながらの糸取り道具や繭や生糸、昔の写真などを見るやいなや、その瞳は輝き頬は上気し、所定時間に終わらないほど、当時のことを昨日のことのように熱く話していただきます。

足踏み式座繰器の前で

岡谷蚕糸博物館には、足踏み式座繰器という一人用の糸取り器械があります。その前に立つと、製糸業全盛時代を知るお年寄りの人たちの多くは「昔はこうやって糸を取ったもんだ」「お袋が土間で糸取りをしていた」と口ぐちに語り始め、目の前の鍋で繭を煮る匂いにその記憶は呼び覚まされます。

足踏み式座繰器は、足で踏みながらその繰枠のスピードを調節することが出来ますが、デモンストレーションで皆様に見ただく時は、話が中心となり、糸を繰るスピードがゆっくりになります。

すると、「繰枠がかなりゆっくりだなあ。お袋はもっと速かった」「もっと早く回さ



足踏み式座繰器の実演を見ていただく
(東京都板橋区女性部来館)

ないと糸取りが終わらないぞ」と、ご指摘を受けることもしばしばです。

繰棒の回る音や匂いの記憶は、70年、80年の時間をあつという間に超えて、当時へといざないます。そして、全盛期の姿を知らない私たちもまた、高齢者の口からあふれ出る多くの話から、当時の繰棒スピードや繰糸の様子などを教えていただき体感することができるのです。

真綿づくり

岡谷の生糸生産量は日本一でしたが、岡谷へ到着する数えきれないほどの多くの繭は、全てが生糸に変わるわけではなく、生糸にできない繭も多くありました。それらの繭を無駄にすることなく真綿にし、糸紡ぎを行ったり布団綿にしたりすることを生業にしていた人たちもまた、岡谷のまちには数多くいらっしゃいました。

真綿づくりをお見せした時のこと。一人の90歳の女性が、真綿掛けの前に置かれた台に頬づえをついて、私が真綿を掛けるのをじっと眺めていました。

「ああ、子どものころ、学校から帰ると、こうやってお母さんが真綿を掛けるのをいつも見ていた。お母さんは、私が今日あつた話をすると、その手を止めず、こちらも見ずに、話を聞いてくれた。そして、繭五分を手で掛けるたびに、一息ついて私を見た。私はお母さんの手元の繭の数ばかり数えていたね。本当に、お母さんは毎日毎日、水の中に浮かべたクラゲみたいな繭から蛹を取って真綿をひいていた。そんなお

母さんに髪を三つ編みにしてもらおうと、私の髪は、蛹臭くなった。だけどそれを私は嫌だとは言えなかったよ」

そうゆっくりと口を開きながら、頬には涙が流れていました。



思い出をたどりながら真綿づくりを見ていただく
(岡谷市間下区つつみ会)



真綿を広げて布団づくりを再現
(岡谷市西堀区イキイキディ)

幼い頃に体験したことや生活の中にあつたこと・・・蚕が桑の葉を食べる「雨が降るような音」に耳を傾けたり、繰棒がガラガラと回る音を聞いたり、繭を煮る匂いを嗅いだり、甘辛く煮た蛹を食べてみたり、

真綿の柔らかさに触れてみたり、といった五感を使った体感は、その世界を知っているからこそ、いくつになっても当時の記憶をひも解くきっかけとなります。

宅老所への出前活動

出前活動は見ていただくばかりではなく、実際に体験していただくこともあります。

民家などを活用して介護度に応じたデイサービスを提供する高齢者向け事業所（宅老所）への出前活動もその一つです。

ある宅老所では、利用者のほとんどが、かつて製糸工場で働いた80歳代、90歳代の女性であるという話を受け、昔ながらの座繰り器械を持参しました。

当初は、実際に糸が出来る様子を見ていただくつもりでしたが、目の前にある懐かしい道具をみたたん、おばあさんたちは、何も言わずとも、座繰り器を自分で回し始めました。桶に入れた煮た繭を、みご箒で撫でて糸くちを出し、いとも簡単にスルスルと糸を引き揃え、回る繰り枠にどんどん糸を繰っていきました。

そして、巻き取られていく繭が薄くなると、お湯に浮かんでいる新しい繭の糸を人さし指に掛けてサッと投げ、見事な手さばきで繭糸をつなぎました。

「昔はさんざんこうやって糸をとったよ」「13歳のころから10年間製糸工場で糸を取った。70年ぶりでもやればできるもんだね。懐かしいよ」「私の糸は浜出し（横浜に送られて輸出用になる）になった」「糸

が切れると叱られるから、切らないようにやらにゃあだよ」

おばあさんたちの口からは、止まることなく製糸工場での話がどんどん出てきて、糸取りしている時の糸取り歌（エーヨー節という）まで口ずさみながら、なつかしい話に大いに花が咲きました。

小さな字はもう見えないというおばあさんたち。しかし、その手の指先には目があるかのように、繭の細い糸を1本ずつ丁寧にとって糸繰りするしなやかな指の動きは、半世紀以上も前に身に付けたとは思えないほど、見事な技術でした。

認知症が進み、デイサービスに来てても表情なく一点を見つめ、一言もしゃべらずに帰ることがあるという92歳のおばあさんがいました。しかし、そのおばあさんは、どのおばあさんよりも上手に糸取りをされたのです。

「糸取りが上手ですね。どこの製糸工場にいましたか」と尋ねたら、すぐさま「私は片倉。片倉で12年。賞状ももらったよ」とニッコリ笑って答えたおばあさん。その



糸取りの技術を披露するお年寄り
（宅老所 パセオ岡谷にて）

姿を、職員の皆さんがとても驚かれたの
言うまでもありません。

糸取りはその手が覚えている、そう実感
した瞬間でした。そして、繭のにおいや生
糸の触り心地は、かつての記憶を呼び覚ま
します。一つの時代を懸命に生きてきた人
たちの思い出の中には、糸のまち岡谷の姿
がありありと残っていることもまた感じる
ことができるひとときでした。

昔のことを思い出す回想法は、高齢者の
思い出に対して共感的に受け入れる姿勢を
もって働きかけることにより、高齢者へ人
生に対する再評価や自己の強化を促し、心

理的な安定や記憶力の改善をはかり、機能
回復や認知症防止にも役立つ療法と言われ
ています。

そして、高齢者の回復療法の観点のみな
らず、そこから得られる時代の証言として
の技術や記憶は、今を生きる私たちに多く
の事実を伝え、示唆を含み、教わることも
計り知れません。製糸業に携わったあまた
の人たちの生きた証言もまた、岡谷蚕糸博
物館の資料として貴重なものの一つになる
ことと感じています。

今後も、糸のまちの記憶のかけはしとな
れるべく、今と昔の歴史をつなぐ活動を続
けて行きたいと思っています。

草木染研究会の発足

～草木染染色家 山崎樹彦講師を迎えて～

公益財団法人 群馬県蚕糸振興協会

日本絹の里染色講師 高橋 麻里奈

草木染研究会の発足趣旨

日本絹の里では、絹への親しみをより深め、身近に感じていただくための取り組みとして、染色、手織り、繭クラフト、和布細工などの体験教室を毎月開催しています。染色体験教室では、草木染、型染、絞り染、ろうけつ染などを行い、その技法に触れる楽しみや、世界でひとつだけの手作り染色作品ができあがる喜びを感じていただけるような染色体験を行ってきました。

しかし、当館で行う体験教室は“体験”を主眼としており、初心者でもわかりやすく、受け入れられやすい、やさしい内容であることが求められます。その一方で、日本絹の里の体験教室を通して染色に興味を持ち、さらに一步踏み入れて染色を学びたいという要望もありました。

そこで、草木染染色家の山崎樹彦講師のご協力を仰ぎ、日本絹の里で外部講師としてご指導いただくことにより、草木染に興味を持つ方々がその基礎から学び、研究できる場として、草木染研究会は発足しました。

研究会テーマ

草木染研究会は平成 25 年 8 月から平成 26 年 2 月まで月 1 回、全 7 回の工程で開催し、内容は天然染料による染色について、①試験布染、②草木染型染の 2 つの研究テーマに班分けして学ぶことを目的としました。

定員 15 名で参加者を募集したところ、県内外から定員を大幅に超える 60 名以上の方々から応募がありました。応募はがきには多くの方々の熱心な参加意思がつつられており、それらに少しでもお応えするために定員を 20 名に増員しました。

当選した 20 名の参加者（図 1）のうち、群馬県外からの応募者は東京都から 4 名、山梨県からは 1 名でした。



図 1 山崎講師と研究生

2つの研究テーマの内容については以下のとおりです。

①試験布染

天然染料の性質や染色工程を考え、草木染の基礎を学ぶことを目的としました。染料は日本茜(図2～4)、ゴバイシ(図5～8)、藍の生葉(図9)、ビワ、ケヤキなどを使用し、



図2 日本茜の煮出しと染色



図3 日本茜の2種類の染色結果



図4 日本茜の試験布まとめ



図5 ゴバイシ(虫こぶ)とアブラムシ

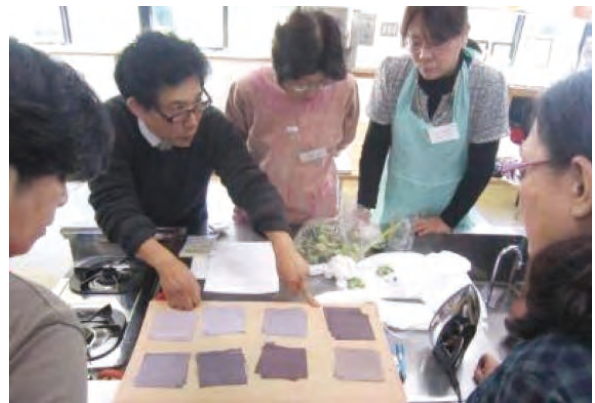


図6 ゴバイシの染色結果



図7 ゴバイシのストール染色



図8 ゴバイシで染色したストール

染料の量や部位（葉、枝、樹皮）による発色の違いや、添加する助剤によって変化する染色性について比較しました。

1つの染料に対して何通りも条件を変えた染色を行い、その発色に差が出ることに對して原因を推測して仮説を立てることで、それぞれの染料の特徴が見えてきました。内容は化学的でありながらも、山崎講師の丁寧なご指導によって天然染料への理解を深めることができました。



図9 藍の生葉 試験布

②草木染型染

天然染料による型染の基本的なパターンを学ぶことを目的としました。図案のテーマはカラマツ（図10～12）、紅葉（図13）、サザンカ（図14）など。染料はラック、墨、藍、インド茜、ヤマモモなどを使用し、糊置き、色差し、地染めの工程を習得後、第5回目以降は自主課題で作品制作をしました（図15～18）。

型糊の扱いに慣れることから始まり、次第に様々な染料での染色や技法を身に付けることができました。山崎講師の惜しみないご指導によって、参加者はデザインから型彫り、染色までを一人の力でできるようになりました。



図10 「カラマツ」糊置き



図11 「カラマツ」色差し

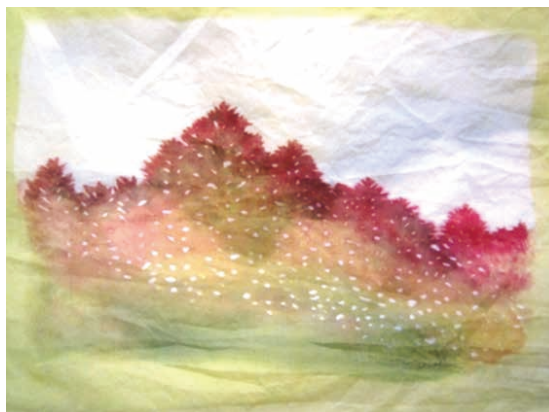


図12 「カラマツ」ラック、藍、ヤマモモで染色



図13 「紅葉」色差し



図 14 「サザンカ」色差し

来年度の草木染研究会の予定

平成 26 年度も草木染研究会を実施します。内容は①試験布染コース、②型染コースの 2 コースに分け、それぞれ別日程で開催します。

①試験布染コース

平成 26 年 7 月頃から全 7 回の実施予定です。募集は 5 月頃開始予定です。

②型染コース

平成 26 年 7 月頃から全 5 回の実施予定です。募集は 5 月頃開始予定です。

詳細につきましては、平成 26 年 4 月以降に日本絹の里までお問い合わせください。皆様のご応募をお待ちしております。



図 15 自由課題 型紙デザイン



図 16 自由課題 色差し



図 17 自由課題 色差し

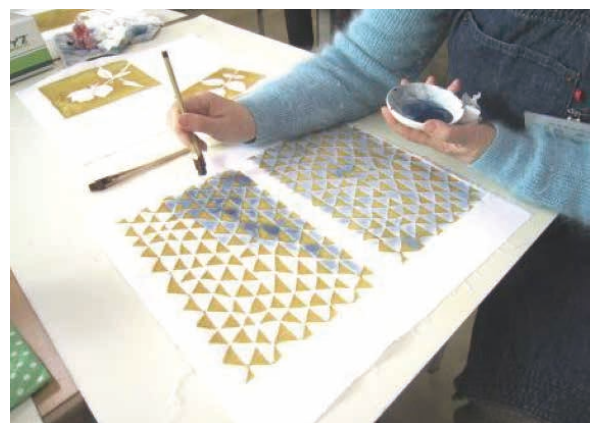


図 18 自由課題制作 色差し

〈お問い合わせ先〉 日本絹の里

住所 〒 370-3511

群馬県高崎市金古町 888-1

TEL 027-360-6300

シルク遺産を訪ねて^⑭

はたや記念館ゆめおーれ勝山

東京産業考古学会

副会長 平井 東幸

福井県勝山市の「はたや記念館ゆめおーれ勝山」は、平成21年にオープン、シルク産業遺産として全国的に見てもまことにユニークな存在であり、その意欲的な活動は注目に値する。JR北陸線福井駅から私鉄えちぜん鉄道に乗り換えて約1時間、終点の勝山駅から徒歩15分（バスもある）、かつて羽二重、レーヨン織物、合繊織物で繁栄した産地・勝山市の中心に立地している。

先ず驚くのは木造の同館（写真1）の大きさである。正面28m、奥行き43m。明治37（1904）年に建設されて以来およそ100年にわたり羽二重を生産してきた旧機業場である。同館には年間何と12万人が訪

れ、人口2.7万人の同市の活性化の一大拠点になっている。

耐震とバリアフリー工事がなされた木造2階建ての建物には織物製造に関する資料が多数展示されており、往時の盛況をしのぶことができる。

1階には明治37年竣工の玄関棟のほか、織機、下足箱、傘立て、仮眠室、乾燥場等が当時のまま保存されているだけでなく、体験コーナー、売店、カフェが併設されている。

2階には糸繰機、糊付け機、管巻き機のほか用具類等が多数動態展示されているほか、福井と勝山の繊維産業の歴史がパネル



写真1 ゆめおーれ勝山正面全景

展示されている。

この施設は、勝山市指定文化財であるだけでなく、経産省の近代化産業遺産認定（平成19年）を受けている。建設には土地代を含めて8億円強もの投資が行われており、運営主体は勝山市であることも注目すべきだろう。

主な見どころは概ね次の通り。

- ①単なるシルク関係の資料館に止まっていないことである。館内には、体験コーナー（手織り等）、カフェや売店を併設している。しかも年間を通じてさまざまなイベントを打っている。年に12万人もの入館者があるのは、そうした企画と努力がある。
- ②機械は糸繰機、織機等が多数展示されているが、そのほとんどが動態展示であることだ。そして10数名のスタッフがサポートしている。
- ③珍しい機械としては、1階の糸繰機（写真2）。明治時代の製造で、石を箱に入れて動力源としていることに要注目、市指定の文化財だ。
- ④織機は、地機、高機、津田駒、富永式等合計6台。

これだけ大規模の産業文化財を保存活用し、地域活性化の核の一つとして運営していることに、勝山市民、市当局、関係者の英断と努力に敬意を表します。

なお、同館の保存復元については、福井県勝山市の調査報告書『勝山市旧機業場修理工事報告書』（98p、平成20年3月、非

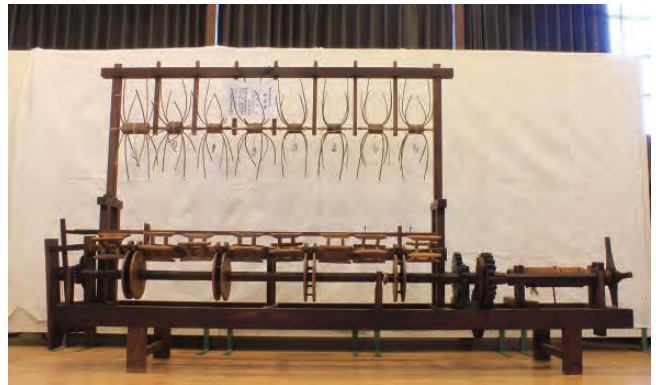


写真2 糸繰機

売品）が写真と図面を含めてまことに詳しいが、この点も文化財保護の観点からも敬意を表したい。

また、市内には、ケイター資料館や東野東吉機業場など貴重な産業遺産が存在しているが、これらについては次回紹介したい

終わりに、館内ご案内と資料提供等格別のご高配をいただいた同館の山本一郎館長ならびにケイター㈱の大谷嘉則取締役に感謝致します。

（※写真1.2は、はたや記念館ゆめおーれ勝山の提供）

■はたや記念館ゆめおーれ勝山

休館日：12月29日～1月2日

開館時間：午前9時～午後5時

所在地：〒911-0802

福井県勝山市昭和町1-7-40

Tel：0779-87-1200

アクセス（電車で）：JR北陸線「福井駅」

から、えちぜん鉄道の終点「勝山駅」

下車、コミュニティバス「ぐるりん」、

または恐竜バス「ダイナゴン」で3分、

「ゆめおーれ勝山」下車すぐ

入館料：1階／無料、2階ミュージアム

ゾーン／一般200円

問合せ先：同館

イベント情報

イベント名	企画・展示内容	開催日(期間)	場所・主催者等
純国産絹製品の紹介	<p>(帯揚)</p> <p>出展者は東京日本橋の(株)加藤萬。 群馬の蚕品種「ぐんま200」から作る生糸を使用し、作家により仕上げられた作品。</p>	<p>会期:平成26年3月3日(月)~24日(月)</p> <p>開催時間:10:00~18:00</p>	<p>主催:ジャパンシルクセンター</p> <p>会場:ジャパンシルクセンター(純国産絹製品コーナー) 東京有楽町蚕糸会館1F</p>
	<p>(帯締)</p> <p>出展者は東京豊島区の(株)平田組紐。 群馬の蚕品種「ぐんま200」から作る生糸を使用し、無地染め、暈かし染め等の配色が美しい作品。</p>		
	<p>(ネクタイ、マフラー等)</p> <p>出展者は群馬県富岡市の富岡シルクブランド協議会。 本年6月に世界遺産に登録されると期待される「富岡製糸場」に集う養蚕農家、製糸工場、機屋、染織作家らが仕上げた作品等。</p>	<p>会期:平成26年3月31日(月)~4月25日(金)</p> <p>開催時間:10:00~18:00</p>	<p>TEL03-3215-1212 Fax03-3214-1700</p>

イベント名	企画・展示内容	開催日(期間)	場所・主催者等
<p>企画展 衣料から医療へ —シルクで創る人工血管—</p>	<p>東京農工大では、明治7年以来140年に渡りシルクの研究が続けられてきました。博物館には、その中で集められた貴重な資料が展示されています。本企画展では、本学工学部生命工学科朝倉研究室による、シルクで創る人工血管についてご紹介します。分子レベルでの構造解析を通して、新しいシルクを生産し、人工血管をはしせめとした様々な再生医療材料の開発・研究を行っています。天然素材シルクの優秀さと、衣料以外でのシルク活用の新たな可能性</p>	<p>・会期 平成26年2月11日～4月26日(土)</p> <p>・開催時間 午前10～午後5時 入館は午後4時まで</p> <p>・休館日 日曜、月曜、祝日</p> <p>・入場無料</p>	<p>・主催:東京農工大学科学博物館</p> <p>・会場:同上 (小金井市中町2-24-16農工大)</p> <p>・後援:一般財団法人東京農工大学教育研究振興財団</p> <p>・問合せ先 Tel.042-388-7143博物館</p>
<p>2014西陣織大博覧会 —西陣織大会—</p>	<p>伝統を誇る西陣産地が、西陣織製品の優秀作品を一堂に展示公開し、「感性」「技術」「意匠」「織組織」「市場性」を競うと共に、本年の商品傾向並びに新商品を発表し、躍進を目指します。展示品目:帯地、きもの、金襴、ネクタイ、肩傘、インテリア等 展示:生糸、金銀糸箔、不足機器、「2013西陣織元コレクション」入賞作品、「涼を呼ぶネックウェア」開発作品、来場者集客イベント</p>	<p>・会期(公開日) 平成26年3月21日(金)～23日(日)</p> <p>開催時間 午前10時～午後5時 (23日は16時まで)</p> <p>・入場無料</p>	<p>・主催:西陣織工業組合</p> <p>・共催:京都府・京都市</p> <p>・後援:経済産業省他</p> <p>・協賛:財団法人大日本蚕糸会他</p> <p>・会場 京都市勧業館みやこめっせ</p>
<p>日本絹の里第65回特別展 「まゆクラフトと絹の作品展」</p>	<p>本展では、繭の丸みや表面の凹凸など、繭の特性を活かして作るまゆクラフト作品を一般公募し、まゆクラフトの魅力を皆様にご紹介いたします。また、伝統技法等により染織などの作品を創作している工芸作家と日本絹の里友の会会員の作品として、絹を用いた染色、織物、人形、刺繍、蚕糸に関連する写真などを展示し、より多くの方々に天然素材である絹の素晴らしさを感じていただく機会とします。</p>	<p>・会期 平成26年3月8日(土)～4月14日(月)</p> <p>休館日:火曜日</p> <p>入館料 一般200円 高・大学生100円 中学生以下無料 *団体割引有り</p>	<p>・主催:群馬県立日本絹の里</p> <p>・共催:日本絹の里友の会</p> <p>・会場 日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1</p> <p>Tel.027-360-6300</p>

イベント名	企画・展示内容	開催日(期間)	場所・主催者等
<p>昭憲皇太后百年祭記念 昭憲皇太后と養蚕 パネル展とクラフト体験教室</p>	<p>平成26年4月11日の昭憲皇太后百年祭にあたり、宮中での御養蚕を復興し、養蚕業を奨励された昭憲皇太后の御心を偲び、養蚕に関する展示並びに体験講座を開催。 わが国が誇る絹の文化を後世に伝える一助となることを目指す。 体験教室:繭うさぎ作り、一粒繰り、ランプシェード作り、組紐プレスレット作り、いずれも当日、会場でお申し込みをしてください。</p>	<p>・開催日 平成26年3月22日 (土)～23日(日)</p> <p>・開催時間 午前11～午後4時</p> <p>・入場参加費無料</p>	<p>・主催:明治神宮 ・協力:財団法人大日本蚕糸会/シルク博物館 ・会場:公益社団法人日本看護協会ビル JNAホール (〒150-0001渋谷区神宮前5-8-2) ・後援:公益社団法人日本看護協会 ・問合せ先 TEL03-3379-9154 明治神宮百年総合企画課</p>
<p>シルクサミット2014 イン富岡製糸場 -富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産登録-</p>	<p>「シルクサミット」は、各地域において養蚕・製糸・染織等の生産者や博物館・資料館・絹工房等の関係者が一堂に会して、意見交換や情報・技術交流を目的として、毎年開催しています。今回は、群馬県の富岡製糸場で行います。</p> <p>・日程 第1日目13:00開会(聴講無料) ◇基調講演「富岡製糸場の文化遺産としての価値」 ◇特別講演 「繰糸機械の変遷と生糸品質」 ◇活動事例報告 「伝道師協会の活動」 「富岡シルクブランド協議会の活動」 ◇特別講演「SilkとTomiokaが世界に輝くために」</p> <p>17:00閉会 18:00懇親会(会費5,000円) 第2日目 見学会 3コース(A、Bは有料、Cは無料)</p>	<p>・開催日 平成26年4月17日 (木)～18日(金)</p>	<p>・主催:(独)農業生物資源研究所、(財)大日本蚕糸会、富岡市、富岡製糸場世界遺産伝道師協会</p> <p>・後援:群馬県、群馬県教育委員会、富岡市教育委員会、上毛新聞社他</p> <p>・会場 史跡・重要文化財(建造物) 旧富岡製糸場(群馬県富岡市富岡1番地1) TEL0274-64-0005 fax0274-64-3181</p> <p>・問合せ先 農業生物資源研究所事務局 TEL029-838-6101</p>

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧

平成 26 年 2 月 3 日現在

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物 (振袖、訪問着、付下、色無地、黒留袖、喪服)、 胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物 (色無地、小紋、付下、黒紋付)、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物 (色無地)、胴裏 (灰汁浸け加工)
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物 (色無地、黒紋付)
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物 (色無地、黒紋付)
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物 (色無地、黒紋付)
010	(有) 樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物 (色無地、黒紋付)
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物(作家作品)、後染帯地、先染反物 (大島紬、結城 紬、御召、作家作品)、先染帯地 (織九寸帯、織角帯、作家 作品)、白生地、和装小物 (帯締、羽織紐)、八掛、胴裏
012	河瀬満織物 (株)	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株) 結華	静岡県清水町	後染反物 (色無地、黒紋付)
016	(株) 絹回廊	東京都中央区	後染反物 (色無地)
017	(有) 琴路屋	岩手県釜石市	後染反物 (色無地、黒紋付)
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
019	丸善本店	福島県いわき市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物 (色無地、黒紋付)
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢 (株))	群馬県高崎市	裏地 (胴裏 (ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま 200、灰汁浸加工、 トルマリン加工)、八掛、比翼地)、長襦袢地、後染反物 (作家作品、 紋付地)、白生地 (世紀二一)、後染帯地 ((冬物・夏物) : うるし糸が 5%を超えるもの)、寝衣 (うぶ着、おくるみ)、和装小物 (袱紗)
022	宮階織物 (株)	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21 世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物 (色無地、訪問着)、先染帯地 (袋帯 (草木染、唐織))
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物 (有)	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地 (袋帯、名古屋帯)、先染反物 (御召類)、後染反 物、先染帯地 (袋帯 : 金銀糸が 5%を超えるもの)
027	(有) 織道楽塩野屋	京都市上京区	洋装品 (マフラー、シャツ、ニット (ウオーマー、腹巻、 手袋、靴下))

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物 (江戸小紋、付下、友禅、色無地)、後染帯地
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物 (色無地、黒紋付)
030	(株) 高島屋	東京都中央区	後染反物 (振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖)、 白生地 (長襦袢地、胴裏)、ニット (靴下)
031	(株) さが美	横浜市港南区	後染反物 (黒紋付 (冬用・夏用)、色無地)
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物 (色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店 後藤	青森県むつ市	後染反物 (色無地、黒紋付)
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物 (色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物 (色無地)、後染帯地、白生地 (表地、胴裏、帯地)
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物 (色無地、黒紋付)
038	(株) 柵屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物 (色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	染織家柳崇	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	染織家児玉京子	沖縄県竹富町	先染反物
044	草木染工房山村	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、ストール
045	手織りよおん	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房	沖縄県石垣市	先染反物 (紋紬、緋)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒紬))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
060	田中種 (株)	大阪府中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地)、 後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下、ネックウォーマー、 レッグウォーマー、腹巻)
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物 (色無地)、胴裏 (パールトーン加工)
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物 (色無地、黒紋付)
063	丸池藤井 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)、八掛
064	久保商事 (株)	京都市中京区	和装小物 (帯揚、半衿)
065	加賀グンゼ (株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋 (株)	京都市中京区	後染反物 (訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川 (株)	京都市下京区	和装小物 (帯締、帯揚)
068	第一衣料 (株)	東京都中央区	後染反物 (色無地)
069	(株) 紅輪	川崎市宮前区	後染反物 (色無地)
070	装いの道 (株)	東京都千代田区	白生地 (帯地、表地)、胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工、 ぐんま 200、新小石丸)
071	(株) 高橋屋	岩手県一関市	胴裏 (灰汁浸加工)
072	おお又 (株)	大阪府旭区	胴裏 (灰汁浸加工)、ニット (靴下)
073	(株) 天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏 (ぐんま 200 (灰汁浸加工))、白生地 (表地)
074	(株) きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏 (パールトーン加工)
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏 (酵素精練)
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏 (酵素精練)
077	京和きもの (株)	神奈川県厚木市	胴裏 (酵素精練)
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏 (トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏 (酵素精練)
081	(株) 荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏 (酵素精練)
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏 (酵素精練)、後染反物 (小紋)
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏 (酵素精練)
084	(株) 登美屋	岩手県北上市	胴裏 (パールトーン加工)
085	(株) 川平屋	愛知県豊田市	胴裏 (パールトーン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
086	丸専第一衣料 (株) (丸専きもの)	新潟県長岡市	胴裏 (パールトーン加工)
087	(株) 大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地 (胴裏、比翼地 (振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール
089	(株) あきやま	宮城県綾町	先染反物、洋装品 (ショール、マフラー)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
090	藤井絞 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地 (表地)
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地 (表地)
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装品 (スーツ地、ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
096	(株) 北尾織物匠	京都市上京区	先染帯地 (袋帯、名古屋帯)
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が 5%を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物 (色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締 (金銀糸が 5%を超えるもの)
100	京商 (株)	鳥取県米子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物 (色無地)、後染帯地
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物 (色無地)、後染帯地
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
104	(株) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物 (色無地)
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物 (色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物 (色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物 (色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物 (色無地)
111	(株) 世きね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が 5%を超えるもの)、絹九寸帯 (金銀糸が 5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール (天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物 (色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏 (酵素精練)、先染反物 (結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物 (色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物 (色無地、江戸小紋)、白生地 (表地)
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着))

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物 (色無地)
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物 (色無地)
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏 (酵素精練)
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地 (表地用 (紋意匠))
128	大門屋	福井県大野市	白生地 (牛首紬)、後染帯地 (牛首紬)
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物 (帯揚、半衿)
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物 (小紋)
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物 (小紋)
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物 (小紋)
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (掛布団)
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣 (長肌着、短肌着)
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物 (小紋)
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物 (小紋)
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、禪、マフラー (手織り)
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物 (小紋)
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物 (小紋)
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
142	五嶋 (株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏 (トルマリン加工)、後染反物 (小紋 (変一越))
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物 (色無地)、後染帯地
146	宮井 (株)	京都市中京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、加賀友禪)
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、トランクス)、パジャマ
150	(有) さいとう呉服店	千葉県市川市	後染反物 (色無地、付下)
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
153	勝山織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物 (型友禪、羽二重色無地)、先染反物 (ジャガード織)
155	東朋 (株)	京都府与謝野町	ストール

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、ショール
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物 (小紋)
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (ふとん、ふとんカバー)、洋装品 (スーツ地、コート地、スカート地、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地 (胴裏)、和装小物 (袱紗)
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物 (小紋)
162	福続織物 (株)	福岡市西区	先染帯地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地 (表地)
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地 (表地)
165	(株) 染織こうげい	東京都中央区	白生地 (表地)
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品 (布団、膝かけ)
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))、ニット (靴下)
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
174	(有) 山田呉服店	長野県諏訪市	白生地 (表地)
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、ストール
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (八寸名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット (腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物 (小紋 (変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏 (パールトーン加工)
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物 (小紋 (変一越))
185	マテリアル ローブ 磨	東京都練馬区	後染反物 (小紋 (変一越))

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
蚕糸・織物関連の展示を目的としている施設			
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-22-1325
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地 (敷島公園バラ園内)	027-231-9875
織物参考館“紫”(ゆかり)	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
きもの芸術館((財)日本きもの文化協会)	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ~ 8F	03-3400-0286
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7163
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3-22-7	03-3299-2387
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989-2	0426-76-4064
シルク博物館	231-0023	神奈川県横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ(株)内	0268-41-1800
岡谷蚕糸博物館	394-0028	長野県岡谷市本町 4 丁目 1 番 39 号	0266-22-5854
常田館(絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1-10-3 笠原工業(株)内	0268-22-1230
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
キナーレきもの歴史館	948-0003	新潟県十日町市本町 6 十日町ステージ越後妻有交流館内	0257-52-0117
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109-1	0532-52-5265
川島織物セルコン、織物文化館	601-1123	京都府京都市左京区静海市原町 265	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都府京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
織成館	602-8482	京都府京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
絹の白生地資料館	604-8176	京都府京都市中京区御池通室町東入る竜池町 448-2 伊と幸ビル	075-254-5884
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ(株)周辺敷地内	0773-43-1050
上垣守国養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246-2	079-669-1580
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
展示の一部に蚕糸・織物関連がある施設			
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204-1	059-293-0010
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5-1	0287-36-0949
大間々町歴史民族館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
八王子市郷土資料館	192-0902	東京都八王子市上野町 33	042-622-8939
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽羽 741	042-558-2561
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619-1	055-269-3399

名 称	〒	住 所	電 話
日本司法博物館（松本歴史の里）	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196-1	0263-47-4515
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564-1	0268-42-2158
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1	0574-28-1110
その他関連施設			
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
夕鶴の里資料館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025-2	0238-47-5800
松ヶ丘開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29	0235-62-3985
結城紬関連施設（結城市伝統工芸館）	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018-1	0296-32-7949
たくみの里木織の家「椽」（つるばみ）	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-1308
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉淵町権田 5344-1235	027-340-6060
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3-26-2	0424-81-7656
相模田名民家資料館	229-1124	神奈川県相模原市田名 4853 番 2（大杉公園隣り）	042-761-7118
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618-4	0263-83-3835
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号（上田城跡公園内）	0268-22-1274
塩沢つむぎ記念館（織の文化館）	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227-1	0257-82-4888
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25	0258-83-4800
白山工房（織りの資料館）	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織元田勇（田勇機業株式会社）	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112	0772-72-0307
まゆ村	616-8384	京都府京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp/>

【蚕糸絹業関係団体】

(財) 大日本蚕糸会
(財) 大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター
(財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
TAFS (東京織物卸商業組合)
KOMS (京都織物卸商業組合)
京都和装産業振興財団
(財) 伝統的工芸品産業振興協会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://www.mawata.or.jp/>
<http://www.tanko.or.jp/>
<http://www.nishijin.or.jp/>
<http://www.tafs.or.jp/>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp/>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougei.or.jp/>

【大学・試験研究機関】

(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室

<http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>

(国) 東京農工大学農学部生物生産学科

<http://www.tuat.ac.jp/~aaseisan/>

(国) 東京農工大学工学部生命工学科

<http://www.tuat.ac.jp/~seimei/>

(国) 京都工芸繊維大学工学部応用生物学課程

<http://www.bio.kit.ac.jp/>

(国) 京都工芸繊維大学

<http://www.kit.ac.jp/>

(国) 信州大学繊維学部

<http://www.tex.shinshu-u.ac.jp/>

(国) 名古屋大学農学部

<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>

(国) 北海道大学応用分子生物学講座

http://www.hokudai.ac.jp/agricu/organization/bunya/L_in_bunshi_seibuts.html

(国) 九州大学大学院遺伝育種学講座蚕学研究室

<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/agpm/sangaku/>

(国) 九州大学大学院遺伝子資源工学専攻

http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/grt/igr/new_lab/index.html

(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース

<http://www.news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department/bio/biofunc/index.html>

(国) 山口大学農学部生物資源環境科学科

<http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>

(独) 農業生物資源研究所

<http://www.nias.affrc.go.jp>

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所

http://www.silk.or.jp/silk_kagaku/index.html

(財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所

http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/index.html

群馬県蚕糸技術センター (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>蚕糸技術センター)

http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=50545

群馬県繊維工業試験場 (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>繊維工業試験場)

http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=59241

京都府織物・機械金属振興センター

<http://www.silk.pref.kyoto.jp/index-sub.html>

京都市産業技術研究所

<http://www.ktri.city.kyoto.lg.jp/>

【学会】

日本シルク学会

<http://www.silk.or.jp/ssstj/>

日本蚕糸学会

<http://www.soc.nii.ac.jp/jsss2/>

日本野蚕学会

<http://jswsmo.appspot.com/index.html>

【博物館】

(財) シルクセンター-国際貿易観光会館 シルク博物館

<http://www.silkmuseum.or.jp/>

群馬県立日本絹の里

<http://www.nippon-kinunosato.or.jp/>

愛媛県西予市立野村シルク博物館

<http://www.city.seiyo.ehime.jp/silk>

東京農工大学科学博物館

<http://www.tuat.ac.jp/~museum/index.html>

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	52
(2) 養蚕農家数の推移	53
(3) 繭生産数量の推移	54
(4) 平成 24 年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	55
(5) 平成 24 年度蚕期別、都府県別繭生産数量	56
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移 (2010～2012 年)	57
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	58
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	59
(9) 絹需給の推移 (生糸量換算試算)	60
(10) 品目別・二次製品輸入数量 (生糸量換算試算)	61
(11) 製糸工場の原料繭需給	62
(12) 製糸工場の操業状況	63
(13) 生糸在庫数量の内訳	64
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	65
(15) 生糸の原産国別輸入数量	66
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	67
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	68
(18) 絹織物生産数量	69
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	70
(20) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況	71

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	72
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	73
(3) 中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数	74
(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移	75
(5) 中国のシルク類 (生糸・絹糸・絹織物) の輸出状況	76
(6) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	77
(7) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率	78
(8) 中国企業別従業員年間平均賃金及び対前年増減率	79
(9) 中国産業別従業員年平均賃金の推移	80
(10) 中国省別従業員年平均賃金 (2011 年)	81
(11) ブラジルの繭・生糸生産数量の推移	82
(12) ブラジルの生糸・絹糸輸出数量の推移	83

一資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台 数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
年次 (暦年) Calendar year	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
1997 9年	6,310	2,516	399	31.5	18	67	81.6	52,031
1998 10年	5,070	1,980	390	18.4	13	76	74.5	38,673
1999 11年	4,030	1,496	371	10.8	8	73	67.4	33,425
2000 12年	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2001 13年	2,730	1,031	378	7.2	8	63	56.8	29,801
2002 14年	2,360	880	373	6.5	17	68	51.2	26,826
2003 15年	2,070	780	377	4.8	14	64	48.7	23,935
2004 16年	1,850	683	369	4.4	13	62	45.6	21,895
2005 17年	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2006 18年	1,345	505	375	2.0	9	82	41.6	18,507
2007 19年	1,169	433	370	1.8	8	83	40.0	15,466
2008 20年	1,021	382	374	1.6	7	80	38.1	14,043
2009 21年	915	327	357	1.2	7	60	33.6	11,472
2010 22年	756	265	351	0.9	7	49	35.9	11,612
2011 23年	627	220	351	0.7	7	50	34.7	10,418
2012 24年	571	202	354	0.5	7	50	33.3	9,974
前年対比 (%) 2012/11	91.1	91.8	100.9	71.4	100.0	100.0	96.0	95.7

資料 ・平成20年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。
 ・平成21年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(財)大日本蚕糸会調査である。
 ・平成21年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査である。
 ・平成20年以前の絹業は経済産業省調査であり、平成21年以降絹業は(社)日本絹人織機工業会調査である。
 平成18年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。
 ・平成23年以降の養蚕業は(財)大日本蚕糸会調査である。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、平成14年以降はすべての製糸工場のもの
 である。

Source: ・Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)
 ・National Federation of Agricultural Co-operative Associations and The Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009)
 ・Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(Silk-Reeling, after 2009)
 ・The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008)
 ・Japan Silk & Rayon Weaver's Association (Silk Fabric, after 2009)

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit: number)

年次 Year	項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
1994		19,040	16,790	13,190	14,790
1995		13,640	12,450	9,560	9,580
1996		7,890	6,980	5,000	6,290
1997		6,310	5,650	4,420	5,120
1998		5,070	4,550	3,750	4,120
1999		4,030	3,600	2,710	3,280
2000		3,280	2,970	2,170	2,700
2001		2,730	2,410	1,870	2,270
2002		2,360	1,992	1,720	1,918
2003		2,070	1,875	1,503	1,751
2004		1,850	1,621	1,371	1,551
2005		1,591	1,420	1,061	1,345
2006		1,345	1,215	852	1,102
2007		1,169	1,052	726	988
2008		1,021	929	613	857
2009		915	814	647	755
2010		756	650	494	637
2011		627	562	358	531
2012		571	514	319	462
対前年比 2012/11 (%)		91.1	91.5	89.1	87.0

資料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年）、
農林水産省生産局調査（2005～2008年）、(財)大日本蚕糸会調査(2009年～)。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年).
The Dainippon Silk Foundation (2009年～)

(3) 繭生産数量の推移
Cocoon Production

年次 Year	項目 Item	年計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
		年間	春蚕	初秋蚕	晩秋蚕	年間	春蚕	初秋蚕	晩秋蚕
		Annual total	Spring silk-worm	early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm	Annual total	Spring silk-worm	early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg	
1994		7,724	3,036	2,044	2,644	406	181	155	170
1995		5,350	2,222	1,477	1,651	392	178	155	172
1996		3,021	1,184	747	1,090	382	170	149	173
1997		2,516	982	678	857	398	174	153	167
1998		1,980	769	588	623	390	169	157	151
1999		1,496	596	391	509	371	166	144	155
2000		1,244	500	320	424	379	169	148	157
2001		1,031	391	275	365	378	162	147	161
2002		880	330	231	320	373	166	134	167
2003		775	313	210	253	374	167	140	144
2004		675	256	176	243	369	158	128	157
2005		626	243	165	218	396	171	156	162
2006		505	209	122	173	375	172	143	157
2007		433	175	110	148	371	166	152	150
2008		382	147	96	139	374	158	157	162
2009		327	124	85	118	357	152	131	156
2010		265	107	60	98	351	165	121	154
2011		220	95	49	76	351	169	136	143
2012		202	79	50	73	354	155	156	159
対前年比 2012/11 (%)		91.8	83.2	102.0	96.1	100.9	91.7	114.7	111.2
2012年 構成比 (%)		100.0	39.1	24.8	36.1				

資料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年）、
農林水産省生産局調査（2005～2008年）、（財）大日本蚕糸会調査（2009年～）。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004) .

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年) .

The Dainippon Silk Foundation (2009年～)

(4)平成24年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数

Farm households raising silk-worm by prefectures in 2012

(単位:戸、%)

都府県名	春蚕期			初秋蚕期			晩秋蚕期			年 間		
	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比
青森県	-	-	-	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0
岩手県	16	16	100.0	19	16	84.2	22	17	77.3	23	21	91.3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	16	18	112.5	16	11	68.8	17	17	100.0	22	21	95.5
山形県	9	7	77.8	7	6	85.7	8	7	87.5	10	8	80.0
福島県	51	58	113.7	44	50	113.6	56	57	101.8	60	65	108.3
茨城県	25	25	100.0	23	23	100.0	21	21	100.0	28	28	100.0
栃木県	33	27	81.8	24	21	87.5	31	26	83.9	33	27	81.8
群馬県	239	197	82.4	139	113	81.3	227	189	83.3	261	217	83.1
埼玉県	53	48	90.6	39	29	74.4	51	43	84.3	57	49	86.0
千葉県	7	9	128.6	5	6	120.0	8	8	100.0	8	12	150.0
東京都	5	4	80.0	-	-	-	4	5	125.0	6	6	100.0
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	10	10	100.0	2	2	100.0	-	-	-	10	12	120.0
福井県	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0
山梨県	24	23	95.8	9	8	88.9	20	18	90.0	26	24	92.3
長野県	23	16	69.6	17	16	94.1	21	14	66.7	26	22	84.6
岐阜県	16	17	106.3	-	-	-	17	14	82.4	18	17	94.4
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	2	200.0	1	2	200.0	-	-	-	1	2	200.0
京都府	3	4	133.3	-	-	-	4	3	75.0	4	4	100.0
兵庫県	1	1	100.0	1	1	100.0	-	1	-	1	1	100.0
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	15	17	113.3	10	8	80.0	12	10	83.3	17	18	105.9
高知県	4	3	75.0	-	-	-	2	1	50.0	4	3	75.0
熊本県	5	7	140.0	-	-	-	3	5	166.7	5	7	140.0
宮崎県	2	2	100.0	-	2	-	2	1	50.0	2	2	100.0
鹿児島県	3	2	66.7	0	3	-	3	3	100.0	3	3	100.0
全国計	562	514	91.5	358	319	89.1	531	462	87.0	627	571	91.1

資料:(財)大日本蚕糸会調査

Source:The Dainippon Silk Foundation

(5) 平成24年度蚕期別、都府県別繭生産数量
Cocoon production by prefectures in 2012.

(単位：kg、%)

都府県等	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晚 秋 蚕 期			年 間		
	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比
青森県	-	-	-	156.3	157.2	100.6%	119.3	131.8	110.5%	275.6	289.0	104.9%
岩手県	1,977.5	1,858.5	94.0%	2,318.9	2,968.4	128.0%	2,474.0	2,225.8	90.0%	6,770.4	7,052.7	104.2%
宮城県	2,127.1	2,305.8	108.4%	2,341.8	2,313.1	98.8%	2,248.6	2,633.0	117.1%	6,717.5	7,251.9	108.0%
山形県	1,315.2	1,200.6	91.3%	767.4	1,013.7	132.1%	1,638.3	1,603.9	97.9%	3,720.9	3,818.2	102.6%
福島県	11,519.5	10,681.1	92.7%	8,972.5	10,834.8	120.8%	13,617.0	14,384.8	105.6%	34,109.0	35,900.7	105.3%
茨城県	4,486.0	3,817.2	85.1%	2,323.2	2,478.9	106.7%	3,028.4	2,704.4	89.3%	9,837.6	9,000.5	91.5%
栃木県	11,488.4	7,663.1	66.7%	5,259.7	4,262.8	81.0%	9,370.2	9,605.6	102.5%	26,118.3	21,531.5	82.4%
群馬県	42,178.0	34,931.3	82.8%	18,729.3	17,645.8	94.2%	28,938.0	27,792.0	96.0%	89,845.3	80,374.1	89.5%
埼玉県	7,692.5	6,520.4	84.8%	3,308.7	2,593.8	78.4%	6,061.7	4,757.8	78.5%	17,062.9	13,872.0	81.3%
千葉県	1,168.6	1,213.3	103.8%	569.4	633.0	111.2%	1,113.4	944.4	84.8%	2,851.4	2,790.7	97.9%
東京都	386.0	235.1	60.9%	-	-	-	163.3	178.5	109.3%	549.3	413.6	75.3%
山梨県	3,665.7	2,978.8	81.3%	805.7	1,095.3	135.9%	2,233.2	1,769.2	79.2%	6,704.6	5,843.3	87.2%
長野県	2,714.3	2,129.2	78.4%	1,765.0	1,855.0	105.1%	2,440.2	1,974.1	80.9%	6,919.5	5,958.3	86.1%
新潟県	186.4	159.8	85.7%	54.3	-	-	-	-	-	240.7	159.8	66.4%
福井県	62.4	32.2	51.6%	21.2	18.9	89.2%	23.0	34.3	149.1%	106.6	85.4	80.1%
岐阜県	1,086.0	874.9	80.6%	-	-	-	614.1	605.0	98.5%	1,700.1	1,479.9	87.0%
愛知県	64.1	36.9	57.6%	-	62.0	-	-	-	-	64.1	98.9	154.3%
兵庫県	42.0	75.0	178.6%	35.0	38.2	109.1%	-	41.5	-	77.0	154.7	200.9%
京都府	111.4	102.5	92.0%	-	-	-	93.3	77.0	82.5%	204.7	179.5	87.7%
愛媛県	1,992.9	1,789.7	89.8%	1,350.5	1,551.1	114.9%	1,482.3	1,386.4	93.5%	4,825.7	4,727.2	98.0%
高知県	228.4	168.7	73.9%	-	-	-	86.7	15.3	17.6%	315.1	184.0	58.4%
熊本県	431.9	449.1	104.0%	-	-	-	91.8	347.9	379.0%	523.7	797.0	152.2%
宮崎県	115.2	120.4	104.5%	-	-	-	67.3	62.9%	93.4%	182.5	183.2	100.4%
鹿児島県	1.5	49.5	3300.0%	-	69.0	-	6.6	51.0	772.7%	8.1	169.5	2092.6%
全国計	95,041.0	79,393.1	83.5%	48,778.9	49,591.0	101.7%	75,910.7	73,331.6	96.6%	219,730.6	202,315.6	92.1%

資料：(財)大日本蚕糸会調査

Source: The Dainippon Silk Foundation

(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移 (2010~2012年)

Production by Sort of Silk-Worm Eggs

Item	Year	2010年 (平成22年)		2011年 (平成23年)		2012年 (平成24年)	
		箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %
錦秋1号 × 鐘和1号		3,420	26.2	2,729	24.6	2,806	27.6
錦秋 × 鐘和		2,400	18.4	2,100	19.0	1,818	17.8
ぐん × ま 200		1,627	12.5	1,388	12.5	1,443	14.2
春嶺1号 × 鐘月1号		2,072	15.9	1,419	12.8	1,175	11.5
春嶺 × 鐘月		1,001	7.7	1,002	9.0	838	8.2
かいりょう × あけぼの		487	3.7	435	3.9	416	4.1
松岡 × 姫		200	1.5	300	2.7	340	3.3
新小 × 石丸		355	2.7	396	3.6	324	3.2
芙蓉 × つくばね		300	2.3	180	1.6	143	1.4
上州 × 絹星		51	0.4	86	0.8		
世紀 × 二一		191	1.5	132	1.2	95	0.9
緑繭 × 1号		56	0.4	62	0.6	27	0.3
ブラチ × ナボ一イ		73	0.6	66	0.6	64	0.6
朝朝 × 東一海				50	0.5	50	0.5
朝朝 × つくばね		100	0.8	80	0.7	61	0.6
ぐん × ま黄石丸		152	1.2	76	0.7	70	0.7
改良 × 小石丸		87	0.7	78	0.7	33	0.3
白繭 × 細石丸		115	0.9	77	0.7	93	0.9
小 × 石丸		75	0.6	72	0.6	67	0.7
蚕 × 太		26	0.2				
蚕技 × 研11号		53	0.4	52	0.5	36	0.4
分離白1号 × 支106号		8	0.1				
白繭 × 細青		14	0.1	2	0.0		
新極 × 細1		30	0.2	5	0.0	15	0.1
玉 × 小石		16	0.1	22	0.2	15	0.1
鷹 × 山		25	0.2	20	0.2	5	0.0
支21号 × 四川3眠		4	0.0	6	0.1	4	0.0
又昔 × 中515号		5	0.0				
青熟 × 支21号		6	0.0	8	0.1	7	0.1
諸桂 × 紹白		4	0.0	1	0.0	1	0.0
黄熟 × 中515号		5	0.0	15	0.1	33	0.3
青鬼 × 中515号		3	0.0	2	0.0	2	0.0
い縮 × 中515号		1	0.0	1	0.0	1	0.0
鐘ろ × どり玉		39	0.3	134	1.2	55	0.5
鐘光 × 黄長安		35	0.3	30	0.3		
太平 × 長安		7	0.1	13	0.1	28	0.3
支108号 × 青熟		5	0.0	7	0.1	7	0.1
はく × ぎん				22	0.2	80	0.8
秋光 × 竜銀				5	0.0		
秋花 × 又				3	0.0		
中515号 × 蚕繭				2	0.0	2	0.0
琉球 × 多蚕繭				2	0.0	7	0.1
改良 × 黄繭						10	0.1
山東3眠 × C5						7	0.1
緑繭 × 2号						7	0.1
合計 Total		13,048	100.0	11,080	100.0	10,185	100.0

資料：(財)大日本蚕糸会調査。

Source : The Dainippon Silk Foundation.

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export Balance of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量 Production (A)	輸入数量 Imports (B)	輸出数量 Exports (C)	国内引渡 数 量 Domestic Deliveries (D)	期末在庫 数 量 Ending Stocks (E)	輸入数量 Imports (F)	輸出数量 Exports (G)	輸入数量 Imports (H)	輸出数量 Exports (I)
	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
暦年 Calendar Year									
2005	2,508	22,017	4,125	26,429	8,178	32,700	609	15,928	8,261
2006	1,956	19,974	—	20,752	9,356	31,524	568	12,826	7,586
2007	1,747	12,601	—	15,624	7,879	19,439	404	11,409	7,186
2008	1,588	15,242	—	20,115	4,584	22,636	466	11,696	7,131
2009	1,152	12,085	—	13,766	4,055	16,647	388	9,028	6,271
2010	882	12,209	—	13,817	3,329	16,306	324	8,930	6,302
2011	731	9,323	—	10,926	2,456	17,526	428	8,422	6,229
2012	506	10,032	—	10,222	2,301	16,179	320	7,218	5,545
生糸年度 Silk Year									
2005	2,024	26,365	—	25,737	9,926	36,113	500	16,121	8,655
2006	1,794	13,394	—	16,873	8,241	21,561	534	10,730	7,152
2007	1,762	15,564	—	20,286	5,281	22,936	433	12,255	6,087
2008	1,378	12,137	—	14,638	4,158	18,716	378	10,320	6,806
2009	1,029	12,857	—	14,383	3,661	17,481	366	8,639	6,182
2010	814	12,207	—	13,815	2,935	16,307	324	9,000	6,299
2011	654	8,541	—	9,907	2,348	15,540	433	7,725	5,945
2012	436	10,005	—	9,916	2,402	17,466	302	7,227	5,458
2012 —									
7	36	637	—	627	2,272	1,544	38	605	483
8	24	903	—	626	2,573	1,499	18	575	423
9	33	891	—	1,035	2,462	1,365	6	630	462
10	38	799	—	708	2,591	1,523	43	665	494
11	36	1,122	—	1,062	2,687	1,612	35	624	432
12	43	867	—	825	2,301	1,207	15	553	469
2013 —									
1	38	958	—	1,014	2,283	1,744	11	598	355
2	32	906	—	818	2,403	1,138	13	517	409
3	36	1,148	—	1,034	2,553	1,337	44	466	525
4	36	0	—	567	2,022	1,552	16	610	445
5	35	1,314	—	969	2,402	1,629	23	692	482
6	36	925	—	976	2,387	1,175	21	599	479
7	28	611	—	702	2,324	1,326	66	688	461
8	19	758	—	976	2,218	1,288	61	515	416
9	26	566	—	743	2,067	918	68	456	403
10	40	593	—	672	2,028	1,354	46	648	465
11	42	431	—	679	1,822	1,351	19	605	500

資料：(A)(C)(D)(E)農林水産省生産局調査（～2010.3）、中央蚕糸協会及び日本生糸問屋協会（2010.4～2012.3）、中央蚕糸協会（2012.12～）。(B)財務省関税局調査、ただし96年1月から08年3月までの輸入は、農畜産業振興機構調査の実需者輸入分と一般者輸入分を合わせた数値。(F)(G)(H)(I)財務省関税局調査。

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。
2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。
3. (D)と(E)は2012年11月までと同年12月以降調査方法が変更したため連続性はない。

Source：(A)(C)(D)(E)The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（～2010.3）、Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～2012.11)、Central Raw Silk Association(2012.12～)。

(B)The Customs Bureau, Ministry of Finance. But the figures for raw silk imports have been based on date of the Agriculture & Livestock Industries Corporation since Jan. 1996 until Mar. 2008, excluding bonded silk.

(F)(G)(H)(I)The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries(D)={Stock at end of the previous month+(A)+(B)}-{(C)+(E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸の織度別生産数量の推移

Raw Silk Production by Sizes

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	生 糸 Raw Silk					
		計 Total	18デニール以下 17/19or 17/19 finer	21デニール 20/22	27デニール 26/28	31デニール 30/32	その他 Others
暦 年 Calendar Year							
2005		2,508	8	337	834	799	527
2006		1,956	4	240	531	653	523
2007		1,747	5	259	495	514	474
2008		1,588	4	289	421	368	503
2009		1,152	1	243	392	251	262
2010		882	1	179	316	86	300
2011		731	1	188	249	89	204
2012		506	—	149	202	73	82
生糸年度 Silk Year							
2005		2,024	6	261	510	726	518
2006		1,794	4	269	480	562	475
2007		1,762	5	276	443	495	537
2008		1,378	1	291	447	280	360
2009		1,029	—	205	358	208	242
2010		814	1	176	273	55	309
2011		652	1	164	239	117	134
2012		437	—	128	175	46	88
2012 -	5	53	—	23	8	13	9
	6	49	—	15	29	0	5
	7	36	—	11	10	4	11
	8	24	—	8	12	0	4
	9	33	—	5	21	0	7
	10	39	—	14	14	4	7
	11	36	—	18	16	0	2
	12	43	—	10	21	5	7
2013 -	1	38	—	16	3	10	9
	2	32	—	6	12	5	9
	3	36	—	10	15	3	8
	4	36	—	7	13	6	10
	5	35	—	8	9	9	9
	6	36	—	9	13	0	14
	7	28	—	8	5	1	14
	8	19	—	7	1	0	11
	9	26	—	13	1	1	11
	10	40	—	9	6	11	14
	11	42	—	9	12	6	15

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会(2010.4～)。

備 考：kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3). Central Raw Silk Association (2010.4～).

Remarks : Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移 (生糸量換算試算)

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)
(Unit: 1,000Bales of
60kg)

項目 Item 暦年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④						期末 在庫 Ending Stocks ④	
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import					輸 出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③			
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second				
1992	460	167	85	208	26	21	60	101	308	11	—	0	7	4	297	152
1993	483	152	71	260	25	38	65	132	345	11	—	0	7	4	334	138
1994	525	138	65	322	26	37	64	195	390	10	—	0	7	3	380	135
1995	515	135	54	326	30	31	61	204	377	11	0	1	8	2	366	138
1996	507	138	43	326	35	49	62	180	374	13	0	0	9	4	361	133
1997	401	133	32	236	34	35	43	124	270	14	0	0	11	3	256	131
1998	345	131	18	196	28	23	28	117	222	13	0	0	11	2	209	123
1999	361	123	11	227	41	28	31	127	242	13	0	0	11	2	229	119
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
対前年比 2012/11(%)	101	109	100	99	111	89	100	100	102	94	—	—	93	100	103	98

資 料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報より、農林水産省生産局がとりまとめたものである。

ただし、2000年以降は農林水産省生産局の協力により、(社)日本生糸問屋協会が試算推計したものである。

Source : "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics" (arranged by Agricultural Production Bureau, MAFF)
After 2000, estimated by Japan Raw Silk Dealer's Association through collaboration with Agricultural Production, Bureau MAFF.

(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）

Breakdown of Silk Second Products Imports(Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit:1,000 Bales of 60kg)

項目 Item	暦年 Calendar Year	2007	2008	2009	2010	2011	2012	前年比%	構成比%
								y/y	ratio
布 は く 製 Product made in cloth	男子用外衣類 Men's upper garments	3.9	2.5	1.8	2.8	2.2	2.4	109.1	1.7
	女子用外衣類 Women's upper garments	50.0	40.2	37.1	38.4	51.2	50.0	97.7	35.3
	うちブラウス Blouse of the inside	3.0	3.4	2.8	2.4	2.0	2.2	110.0	1.6
	男子用下着・寝具衣料 Men's underwear・bedding cloth	2.2	1.6	1.1	1.0	1.4	1.5	107.1	1.1
	女子用下着・寝具衣料 Women's underwear・bedding cloth	15.0	16.3	13.5	13.9	15.5	15.5	100.0	11.0
	ハンカチ Handkerchief	0.5	0.5	0.4	0.3	0.5	0.3	60.0	0.2
	ショール、スカーフ類 Shawl, scarves	3.0	2.9	2.5	2.2	2.2	2.3	104.5	1.6
	ネクタイ類 Ties	21.6	20.8	18.2	18.1	14.5	12.8	88.3	9.0
	メリヤス、クロセス編物 Knit. kurose knitting	21.2	19.8	15.9	17.9	18.6	22.7	122.0	16.0
その他の洋装類 Other western clothes	25.4	23.7	22.0	21.0	20.2	19.1	94.6	13.5	
洋装類計 Western clothes subtotal	143.0	128.3	112.4	115.6	126.3	126.6	100.2	89.4	
和装類計 Japanese clothes subtotal	15.5	14.7	15.9	14.5	12.5	11.8	94.4	8.3	
うち絹製の帯小物等 Silk obi accessorys of the inside	12.9	12.1	13.9	12.5	10.1	10.1	100.0	7.1	
その他 Others	2.5	2.4	1.9	2.9	3.1	3.2	103.2	2.3	
合計 Total		161.0	145.4	130.2	133.0	141.9	141.6	99.8	100.0

資料：財務省「日本貿易月報」により（社）日本生糸問屋協会で作成したものである。

注：ラウンドにより合計が一致しないことがある。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance "Trade Statistics"
(arranged by Raw Silk Dealer's Association)

Note: Total may not added up due to round off.

(11) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
	2005	806	830	589
	2006	600	645	541
	2007	548	581	505
	2008	393	518	378
	2009	308	385	313
	2010	240	299	263
	2011	189	162	237
	2012	185	209	183
生糸年度 Silk Year				
	2005	837	693	390
	2006	562	599	349
	2007	502	583	266
	2008	406	452	224
	2009	324	337	209
	2010	260	281	188
	2011	202	224	144
2012 —	6	37	16	165
	7	24	12	177
	8	39	7	201
	9	3	11	193
	10	56	15	234
	11	4	11	227
	12	9	53	183
2013 —	1	0	11	172
	2	1	10	163
	3	0	13	150
	4	0	14	136
	5	2	12	126
	6	21	11	136
	7	39	10	164
	8	15	7	172
	9	8	8	172
	10	41	14	199
	11	3	12	190

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)。
中央蚕糸協会(2012.12～)。

備 考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～2012.11).
Central Raw Silk Association (2012.12～).

Remarks : 1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
			運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year							
	2005	10	203	126	62	269	111
	2006	9	114	94	82	266	103
	2007	8	112	93	83	266	100
	2008	7	112	90	80	266	90
	2009	7	118	71	60	259	82
	2010	7	118	58	49	247	73
	2011	7	110	57	52	252	65
	2012	7	110	39	35	243	56
2012 —	1	7	110	51	46	18	63
	2	7	110	48	44	19	63
	3	7	110	47	43	19	63
	4	7	110	53	48	22	57
	5	7	110	60	55	21	56
	6	7	110	50	45	22	56
	7	7	110	38	35	14	57
	8	7	110	24	22	20	52
	9	7	110	29	26	21	52
	10	7	110	40	36	23	56
	11	7	110	41	37	22	58
	12	7	110	39	35	22	56
2013 —	1	7	110	41	37	20	55
	2	7	110	36	33	21	55
	3	7	110	35	32	22	55
	4	7	110	36	33	22	58
	5	7	110	33	30	22	60
	6	9	110	34	31	18	67
	7	9	110	25	23	23	61
	8	7	110	16	15	20	53
	9	7	110	33	30	14	59
	10	7	110	36	33	23	59
	11	7	110	37	34	22	57

資 料 : 農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)。
中央蚕糸協会(2012.12～)

備 考 : 1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～).
Central Raw Silk Association(2012.12～)

Remarks : 1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳
Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item	総計 Grand Total	一 般 在 庫 Stock in markets					農畜産業振興機構 Stock of Agriculture & Livestock Industries Corporation		
		計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場 売買業者 Dealers	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers	受 入 数 量 Accepts	引 渡 数 量 Deliveries	在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year									
2005	8,178	8,178	721	139	7,008	310	22,017	26,142	—
2006	9,356	9,356	446	50	8,606	254	19,974	19,974	—
2007	8,080	8,080	359	20	7,358	343	12,601	12,601	—
2008	4,584	4,584	310	15	3,536	723	1,459	1,459	—
2009	4,055	4,055	355	10	3,162	528			
2010	3,329	3,329	319	0	2,354	656			
2011	2,456	2,456	288	0	1,651	517			
2012	2,031	2,031	245	0	2,056				
生糸年度 (6~5) Silk Year									
2005	9,926	9,926	373	170	8,923	460	26,365	26,365	—
2006	8,241	8,241	473	20	7,564	184	13,394	13,394	—
2007	5,281	5,281	305	15	4,241	720			
2008	4,205	4,205	376	15	3,266	515			
2009	3,661	3,661	358	0	2,795	508			
2010	2,999	2,999	285	0	2,014	700			
2011	2,348	2,348	304	0	1,481	583			
2012	2,402	2,402	251	0	2,151				
2012 — 5	2,348	2,348	304	0	1,481	563			
6	2,226	2,226	299	0	1,344	538			
7	2,272	2,272	283	0	1,474	515			
8	2,573	2,573	280	0	1,656	637			
9	2,462	2,462	267	0	1,698	497			
10	2,591	2,591	263	0	1,764	564			
11	2,687	2,687	248	0	1,842	597			
12	2,301	2,301	245	0	2,056				
2013 — 1	2,283	2,283	257	0	2,026				
2	2,403	2,403	264	0	2,139				
3	2,553	2,553	257	0	2,296				
4	2,022	2,022	258	0	1,764				
5	2,402	2,402	251	0	2,151				
6	2,387	2,387	258	0	2,129				
7	2,324	2,324	239	0	2,085				
8	2,218	2,218	231	0	1,987				
9	2,067	2,067	218	0	1,849				
10	2,028	2,028	224	0	1,804				
11	1,822	1,822	231	0	1,591				

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)。中央蚕糸協会(2012.12～)
Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～2012.11).
Central Raw Silk Association (2012.12～).

(14) 蚕糸関係品目別輸入状況 (平成20年～25年11月)
Breakdown of Silk-Related Products Imports (2008～Nov. 2013)

	単位 Unit	平成25年(2013)		平成24年 (2012)	平成23年 (2011)	平成22年 (2010)	平成21年 (2009)	平成20年 (2008)	24年/23年 2012/11 (%)
		(11月) Nov.	(累計) Accumulate d Total						
生糸・玉糸計 Raw Silk and Doupion Silk	俵 Bales of 60kg	491	8,532	10,032	9,323	12,209	12,085	15,242	107.6
絹糸 Silk Yarn	俵 Bales of 60kg	1,351	14,811	16,179	17,526	16,306	16,647	22,636	92.3
野蚕糸 Wild Raw Silk	俵 Bales of 60kg	10	156	82	-	82	149	317	-
繭 Cocoon	kg	-	4,300	6,250	4,050	13,158	9,800	4,000	154.3
真綿 Floss Silk	kg	-	-	-	-	-	-	29,071	-
ペニ Peigne	kg	-	-	-	-	-	35,331	2,770	-
くず繭 Waste Cocoon	kg	1,429	13,096	6,457	10,885	9,395	33,450	23,770	59.3
絹ノイル Silk Noil	kg	-	-	-	-	-	-	202,220	-
その他の絹 くず Other Silk Waste	kg	9,399	88,448	107,023	98,732	134,852	103,122	193,125	108.4
絹のくず計 Silk Waste Total	kg	10,828	101,544	107,022	109,617	144,247	171,903	450,956	97.6
絹紡糸 Spun silk yarn from silk waste other than noil	kg	37,454	401,669	482,523	394,920	451,219	335,710	526,662	122.2
絹紡糸 Spun silk yarn from noil silk	kg	6,551	139,224	140,188	118,404	104,374	97,554	143,585	118.4
絹織物 Silk Fabrics	m ²	605,349	6,799,801	7,403,581	8,545,903	9,029,003	8,996,010	11,540,335	86.6

資料：財務省関税局

備考：絹ノイルと真綿の統計は、平成21年1月より廃止された。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance

(15) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位：60kg 俵)
(Unit: Bales of 60kg)

国名 Country	計	中国	ブラジル	ベトナム	タイ	その他
年 月 Year & Month						
暦年 Calendar Year						
2008	15,242 (137)	10,969 (102)	4,152 (35)	-	122	-
2009	12,085 (72)	8,170 (51)	3,855 (21)	-	41	-
2010	12,209 (65)	8,411 (40)	3,706 (25)	-	32	-
2011	9,323 (63)	7,170 (32)	2,136 (30)	-	5	-
2012	10,032 (49)	8,628 (36)	1,403 (13)	-	-	-
生糸年度 Silk Year						
2008	12,138 (103)	8,572 (89)	3,435 (14)	11	122	-
2009	12,857 (66)	8,787 (38)	3,896 (28)	11	73	-
2010	12,172 (79)	9,062 (65)	3,068 (14)	1	39	-
2011	8,602 (53)	6,846 (21)	1,754 (32)	1	39	-
2012 - 1	1,185	1,149	36	-	-	-
2	481 (10)	289 (10)	193	-	-	-
3	931 (6)	870 (6)	61	-	-	-
4	0	0	0	-	-	-
5	1,757 (5)	1,508 (5)	249	-	-	-
6	460	360	99	-	-	-
7	637 (6)	526	110 (6)	-	-	-
8	903 (5)	817	81 (5)	-	-	-
9	891	750	141	-	-	-
10	799 (7)	660 (5)	139 (2)	-	-	-
11	1,122 (5)	963 (5)	159	-	-	-
12	867 (5)	736 (5)	130	-	-	-
2013 - 1	958 (10)	918 (10)	40	-	-	-
2	906 (9)	698 (7)	207 (2)	-	-	-
3	1,148 (17)	1,083 (17)	65	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-
5	1,314 (25)	1,031 (15)	278 (10)	5	-	-
6	925	841	84	-	-	-
7	611 (2)	539	72 (2)	-	-	-
8	758 (15)	577	176 (10)	5 (5)	-	-
9	566	546	20	-	-	-
10	855 (15)	689 (10)	166 (5)	-	-	-
11	491	416	75	-	-	-

資料：財務省関税局調査

備考：1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。
2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source：The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Country volume may not add up the total volume due to round off.
2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(16) 絹糸の原産国別輸入数量
Silk Yarn Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

年月 Year&Month	国名 Country	計 Total	韓 国 S Korea	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
暦 年 Calendar Year									
2008		22,636	143	12,513	6,865	12	—	3,204	12
2009		16,647	—	9,656	5,096	12	—	1,742	137
2010		16,306	—	9,675	4,161	16	—	1,716	205
2011		17,526	—	10,384	5,129	7	—	#REF!	212
2012		16,179	—	9,924	4,908	15	—	1,109	223
生糸年度 Silk Year									
2008		18,716	23	10,677	5,700	11	—	2,242	64
2009		17,481	—	9,940	5,065	7	—	1,953	186
2010		12,293	—	7,607	3,595	8	—	945	140
2011		15,540	—	9,060	4,364	44	—	1,713	303
2012 —	1	1,590	—	1,075	353	—	—	80	80
	2	758	—	378	216	1	—	162	—
	3	1,143	—	747	281	2	—	113	—
	4	1,092	—	662	326	—	—	103	—
	5	1,531	—	1,001	328	—	—	124	78
	6	1,316	—	727	514	1	—	75	—
	7	1,554	—	907	488	—	—	97	53
	8	1,499	—	897	561	—	—	41	—
	9	1,365	—	773	506	1	—	73	12
	10	1,523	—	953	456	3	—	112	—
	11	1,612	—	982	568	5	—	56	—
	12	1,207	—	824	310	1	—	71	—
2013 —	1	1,744	—	1,080	612	—	—	52	—
	2	1,138	—	616	429	—	—	93	—
	3	1,337	—	940	342	5	—	50	—
	4	1,552	—	880	574	—	—	95	3
	5	1,629	—	1,012	545	1	—	71	—
	6	1,175	—	660	446	3	—	67	—
	7	1,326	—	729	555	4	—	38	—
	8	1,288	—	750	419	1	—	118	—
	9	918	—	489	413	1	—	15	—
	10	1,354	—	682	541	1	—	131	—
	11	1,351	—	676	576	18	—	81	—

資 料：財務省関税局調査。

備 考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : Country volume may not add up the total volume due to round off.

(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価

Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵, Kg/円

項目 Item	輸入生糸（通関ベース） Raw Silk Imprt				輸入絹糸（通関ベース） Silk Yarn Import					
	中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
暦年 Calendar Year										
1999	27,446	2,439	14,602	3,026	11,729	2,979	6,069	3,706	2,886	3,277
2000	30,147	2,655	11,772	3,340	13,769	2,789	5,712	3,543	6,255	3,168
2001	22,018	2,824	8,339	3,713	10,303	3,149	5,130	3,790	6,607	3,688
2002	24,521	2,241	7,909	3,192	13,256	2,556	6,097	3,299	7,122	3,053
2003	24,074	1,988	7,260	2,436	17,408	2,182	6,223	2,740	7,167	2,499
2004	18,016	2,435	7,387	3,631	13,280	2,576	7,444	3,038	7,076	2,624
2005	17,327	2,638	5,308	2,903	18,977	3,105	5,767	3,301	7,550	2,933
2006	14,739	3,736	6,181	4,188	17,019	4,172	5,675	4,543	8,706	3,643
2007	8,793	3,321	3,846	3,778	11,726	3,586	2,930	4,305	4,744	3,972
2008	12,190	3,104	4,153	3,490	12,627	3,361	3,204	3,989	6,865	3,220
2009	8,120	2,740	3,965	3,059	9,656	2,840	1,742	3,611	5,116	3,034
2010	8,411	3,667	3,706	3,773	9,675	3,730	1,706	4,161	4,606	3,411
2011	7,170	4,469	2,136	5,492	10,384	4,707	1,722	5,398	5,429	4,402
2012	8,628	4,289	1,398	5,277	9,926	4,383	1,119	6,032	4,908	4,494
2012 - 1	1,149	4,180	36	5,260	1,075	4,131	92	5,958	353	4,345
2	289	4,024	193	5,297	378	4,137	162	5,560	216	4,264
3	870	4,296	61	5,241	747	4,323	113	6,187	281	4,731
4	-	-	-	-	662	4,372	103	6,065	326	4,887
5	1,508	4,311	249	5,220	1,001	4,304	124	6,048	328	4,625
6	360	4,347	99	5,005	727	4,370	75	5,876	515	4,703
7	526	4,220	110	5,013	907	4,502	97	5,930	488	4,591
8	817	4,130	81	5,151	897	4,433	41	5,850	561	4,402
9	750	4,212	141	5,353	773	4,315	73	6,167	506	4,320
10	660	4,151	139	5,333	953	4,295	112	6,224	456	4,435
11	963	4,405	159	5,417	982	4,514	56	6,347	568	4,130
12	736	4,758	130	5,571	824	4,815	71	6,599	310	4,755
2013 - 1	918	5,103	40	6,180	1,080	5,172	52	7,079	612	5,084
2	698	6,029	207	6,284	616	5,574	93	7,318	429	5,362
3	1,083	5,733	65	6,749	940	5,959	50	7,806	342	5,789
4	-	-	-	-	880	6,106	95	8,026	574	5,974
5	1,031	6,132	278	7,271	1,012	6,311	71	8,405	545	6,105
6	841	6,237	84	7,517	660	6,461	67	8,602	446	6,505
7	539	5,855	72	7,850	729	6,285	38	8,783	555	6,362
8	577	6,223	176	7,869	750	6,469	118	8,807	419	6,392
9	546	6,250	20	8,035	489	6,468	15	8,853	413	6,485
10	689	6,242	166	8,049	682	6,443	131	8,821	541	6,208
11	416	6,178	75	7,918	676	6,480	181	8,878	576	6,508

資料：財務省調査。通関統計による、単価はC I F価格である。

Source : The customs Bureau , Ministry of Finance

Remarks : A unit price is CIF price.

(18) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位：1,000㎡)
(Unit: 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics									
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics		
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crape	先 練 (先染) Dyed Yarn			
年 月 Year & Month	暦 年 Calendar Year										
		2006	18,507	6,105	2,732	1,727	1,646	9,311	5,966	3,345	3,090
		2007	15,466	5,215	2,276	1,547	1,392	7,709	4,671	3,038	2,542
		2008	14,043	4,887	2,061	1,419	1,407	6,929	4,263	2,666	2,228
		2009	11,472	4,015	1,732	1,193	1,090	5,663	3,449	2,214	1,794
		2010	11,612	3,844	1,510	1,254	1,080	6,212	4,029	2,183	1,556
		2011	10,418	4,105	2,615	198	1,292	4,338	1,615	2,719	1,979
		2012	9,974	4,548	2,482	200	1,875	3,172	1,776	1,395	2,254
	2012 — 7		866	395	216	17	163	275	154	121	196
	8		743	339	185	15	140	236	132	104	168
	9		719	328	179	14	135	229	128	101	162
	10		880	401	219	18	165	280	157	123	199
	11		880	401	218	18	165	280	157	123	199
	12		849	387	211	17	160	270	151	119	192
	2013 — 1		828	386	209	16	161	250	122	127	192
	2		838	390	212	16	163	253	123	129	189
	3		852	397	215	16	165	257	125	131	192
	4		890	415	225	17	173	269	131	137	201
	5		852	397	215	16	165	257	125	131	192
	6		879	410	222	17	171	266	129	135	199
	7		907	423	229	17	176	274	133	140	205
	8		721	336	182	14	140	218	106	111	167
	9		752	350	190	14	146	227	110	116	174
	10		893	416	226	17	173	270	131	138	207
	11		865	403	219	16	169	261	127	133	201

資 料：(一社)日本絹人織織物工業会。

備 考：絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association.

Remarks : Spun and mixed fabrics included .

Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(19)丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項目 Item	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2005	19,821	90.3	1,058,571	94.5	170,061	92.6	691,780	88.7
2006	18,526	93.5	912,027	86.2	132,448	78.1	598,040	86.4
2007	15,479	83.6	712,560	78.1	97,204	73.0	977,719	163.5
2008	13,914	89.9	656,919	92.2	88,401	90.8	867,490	88.7
2009	9,930	71.4	503,365	76.6	73,681	84.0	746,538	86.1
2010	11,661	117.4	515,721	102.5	84,023	110.0	859,244	115.1
2011	10,319	88.5	475,989	92.3	70,803	84.3	692,943	80.6
2012	9,944	96.4	451,503	94.9	62,910	88.9	645,679	92.9
2011 —								
9	788	81.9	38,639	82.6	5,394	74.0	61,501	94.7
10	821	82.5	39,116	84.3	5,589	92.5	51,586	66.1
11	879	87.5	37,346	82.5	5,929	84.0	62,567	90.8
12	889	92.0	39,833	88.5	5,376	90.3	52,433	77.0
2012 —								
1	801	98.4	29,890	91.3	4,787	87.8	51,823	83.7
2	818	93.7	38,352	90.5	5,632	93.4	65,046	107.4
3	832	91.9	37,766	90.4	5,306	76.9	62,163	110.8
4	832	83.8	42,234	94.3	5,614	86.3	57,688	96.1
5	866	103.1	33,283	83.8	6,109	100.2	56,873	90.9
6	887	97.4	43,214	103.4	5,335	87.9	47,616	78.3
7	866	103.8	39,999	91.9	5,967	110.5	47,268	87.9
8	743	95.4	31,797	92.5	4,052	67.0	45,892	93.5
9	719	91.2	39,579	102.4	5,051	93.6	44,900	73.0
10	880	107.2	36,734	93.9	5,159	92.3	55,813	108.2
11	880	100.5	38,312	102.5	4,994	84.2	56,530	101.3
12	849	95.5	40,343	101.3	4,904	91.2	54,067	103.1
2013 —								
1	828	103.3	25,024	83.7	4,453	93.0	54,617	105.4
2	838	102.4	41,930	109.3	4,632	82.2	52,253	80.3
3	852	102.4	37,110	98.3	4,306	81.2	55,771	89.7
4	890	107.0	38,904	92.1	5,498	97.9	61,790	107.1
5	852	98.4	34,916	104.9	4,794	78.5	59,581	104.8
6	879	99.1	40,887	94.6	4,694	88.0	49,312	103.6
7	907	104.7	36,717	91.8	5,023	84.1	46,098	97.5
8	721	97.0	30,707	96.6	3,564	81.9	43,162	94.1
9	752	104.6	39,079	98.7	4,974	100.4	45,834	102.1
10	893	101.5	32,162	87.6	4,960	82.8	53,507	95.9
11	865	98.3	39,338	102.7	4,170	83.5	56,868	100.6
12			36,677	90.9				

資 料：絹織物生産数量は(一社)日本絹人織物工業会調査。主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備 考：2006年1月以降の西陣の帯生産数量には、帯裏地等を含む。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association and Japan Raw Silk Dealer's Association.

Remarks : Since Jan. 2006, sash livings are included in sash production.

(20) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況

Consumption Expenditures of Total Households

項目 Item	消費支出総額 Total		被服及び履物 Clothing&footwear		和服 Japanese clothing		洋服 Clothing		シャツ・セーター Shirts & sweaters		下着類 Underwear	
	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)
年月 Year & Month												
暦年Calendar Year												
2006	294,943	▲ 2.0	12,776	▲ 1.0	342	▲ 7.8	5,007	▲ 2.6	2,694	▲ 0.9	1,184	3.9
2007	297,782	1.0	12,933	1.2	345	0.9	5,066	1.2	2,727	1.2	1,164	▲ 1.7
2008	296,932	▲ 0.3	12,523	▲ 3.2	299	▲ 13.3	4,890	▲ 3.5	2,598	▲ 4.7	1,133	▲ 2.7
2009	291,737	▲ 0.2	11,994	▲ 3.3	261	▲ 12.0	4,622	▲ 4.2	2,468	▲ 4.0	1,098	▲ 2.9
2010	290,244	0.3	11,499	▲ 2.9	245	▲ 6.0	4,459	▲ 2.3	2,353	▲ 3.8	1,069	▲ 1.0
2011	282,966	▲ 2.2	11,382	▲ 0.7	270	9.3	4,273	▲ 4.2	2,403	2.1	1,100	3.7
2012	286,169	1.1	11,453	0.6	246	▲ 9.4	4,305	0.8	2,410	▲ 0.4	1,087	▲ 0.7
2012 - 4	301,948	2.6	11,687	4.3	95	2.9	4,399	5.4	2,434	1.1	934	5.0
5	287,911	4.0	11,592	▲ 2.5	124	150.1	3,801	▲ 7.2	2,771	▲ 0.7	1,072	▲ 6.6
6	269,810	1.6	11,208	▲ 1.4	169	49.2	3,627	0.4	2,760	▲ 5.4	1,169	▲ 4.5
7	283,295	1.7	11,920	▲ 1.5	239	▲ 15.4	3,923	▲ 3.7	3,161	0.7	1,286	▲ 2.8
8	286,036	1.8	8,627	▲ 3.0	381	▲ 17.1	2,685	0.0	2,062	0.5	960	1.9
9	266,705	▲ 0.9	8,436	▲ 2.9	188	▲ 15.8	2,900	▲ 1.9	1,876	▲ 1.0	837	▲ 2.5
10	284,238	▲ 0.1	12,195	▲ 6.7	244	▲ 61.4	4,637	▲ 7.5	2,559	▲ 8.2	1,129	▲ 5.6
11	273,772	0.2	13,814	4.8	545	10.3	5,394	7.8	2,541	▲ 3.8	1,382	8.5
12	325,492	▲ 0.7	13,813	0.5	172	215.0	5,571	4.0	2,475	▲ 2.7	1,526	▲ 6.9
2013 - 1	288,934	2.4	12,301	▲ 6.7	28	▲ 89.8	5,208	▲ 6.0	2,592	▲ 3.3	1,110	▲ 1.4
2	268,099	0.8	9,117	3.8	194	▲ 49.2	4,053	9.5	1,647	7.6	738	0.8
3	316,166	5.2	13,271	9.3	138	▲ 7.3	6,177	11.2	2,357	16.1	848	▲ 3.2
4	304,382	1.5	11,762	0.6	134	41.0	4,557	3.5	2,512	2.8	868	▲ 7.5
5	282,366	▲ 1.6	12,400	6.9	231	87.0	4,077	7.3	2,956	6.4	1,142	6.1
6	269,418	▲ 0.4	12,139	8.1	419	148.6	4,088	12.4	2,933	6.0	1,130	▲ 4.1
7	286,098	0.1	11,876	▲ 1.2	194	▲ 18.2	4,091	3.0	3,174	▲ 0.8	1,224	▲ 5.5
8	284,646	▲ 1.6	8,829	1.5	71	81.3	2,857	5.3	2,193	4.5	984	1.9
9	280,692	3.7	9,180	8.0	182	▲ 2.6	3,457	18.3	1,936	1.5	807	▲ 4.4
10	290,676	0.9	12,483	1.8	246	1.2	5,123	9.8	2,595	▲ 0.2	1,043	▲ 8.2
11	279,546	0.2	13,741	▲ 1.1	94	▲ 82.8	5,663	4.5	2,593	0.3	1,404	0.6
12	334,433	0.7	13,974	0.6	187	9.0	5,639	0.4	2,554	1.8	1,490	▲ 3.4

資料:総務省統計局「家計調査報告」。2人以上で構成される8,000世帯を集計。

備考:「被服及び履物」は右に並ぶ内訳4項目以外の費目も含む。年数値は月平均。

Source:Family Income and Expenditure Survey by Statistics Bureau, MIC.

Added up 8,000 two-or-more-person households.

Remarks:Clothing&footwear includes japanese clothing ,clothing ,shirts&sweaters and other items.

Year value is mean of the each month

一資料・海外一

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2005年	2006年	2007年
日本	Japan	トン 626	トン 505	トン 433
中国	China	621,461	739,715	779,261
インド	India	126,261	135,462	132,038
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	7,146	8,051	8,617
タイ	Thailand	10,650	10,100	1,785
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	2,543	2,104	1,665
トルコ	Turkey	170	350	130
インドネシア	Indonesia	691	339	470
ブルガリア	Bulgaria	42	65	55
ギリシャ	Greece	70	100	104
フィリピン	Philippines	14.4	16	9
シリア	Syria	5.5	3	2.5
主要国の計	Total	810,680	937,810	965,570

区 分		2008年	2009年	2010年
日本	Japan	トン 382	トン 327	トン 265
中国	China	683,387	575,299	617,915
インド	India	124,834	131,661	131,924
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	6,266	4,835	4,439
タイ	Thailand	7,700	4,655	4,655
ウズベキスタン	Uzbekistan	25,760	25,896	20,000
イラン	Iran	1,185	1,185	1,185
トルコ	Turkey	126	140	140
インドネシア	Indonesia	273	133	161
ブルガリア	Bulgaria	48	51	75
ギリシャ	Greece	100	100	100
フィリピン	Philippines	6	4	4
シリア	Syria	3	4	4
主要国の計	Total	871,070	765,290	801,867

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(2)世界主要国の家蚕生糸生産数量

Domesticated Raw Silk Production in Major Countries

区 分		2005年		2006年		2007年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	151	2,500	119	2,000	105	1,800
中国	China	87,761	1,462,700	93,105	1,552,000	108,420	1,807,000
インド	India	15,445	257,400	16,525	275,400	16,245	270,800
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,285	21,400	1,387	23,100	1,220	20,300
タイ	Thailand	1,420	23,700	1,080	18,000	760	12,700
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,100	18,300	1,100	18,300
イラン	Iran	395	6,600	324	5,400	253	4,200
トルコ	Turkey	30	500	25	400	20	300
インドネシア	Indonesia	91	1,500	47	800	65	1,100
ブルガリア	Bulgaria	6	100	5	100	7.5	100
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1.1	0	1.6	0	1	0
シリア	Syria	0.7	0	0.5	0	0	0
主要国の計	Total	109,940	1,832,300	115,973	1,933,100	130,451	2,174,200

区 分		2008年		2009年		2010年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	95	1,600	69	1,200	53	900
中国	China	98,620	1,643,700	92,455	1,540,900	95,778	1,596,300
インド	India	15,610	260,200	16,322	272,000	16,360	272,700
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,177	19,600	811	13,500	770	12,800
タイ	Thailand	1,100	18,300	665	11,100	665	11,100
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,417	23,600	2,447	40,800	2,100	35,000
イラン	Iran	180	3,000	180	3,000	180	3,000
トルコ	Turkey	15	300	20	300	20	300
インドネシア	Indonesia	37	600	19	300	20	300
ブルガリア	Bulgaria	7.5	100	6.3	100	9.4	160
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1	0	1	0	1	0
シリア	Syria	0.4	0	0.6	0	0.6	0
主要国の計	Total	120,514	2,008,600	115,250	1,920,800	118,211	1,970,160

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(3)中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数

Domesticated Cocoon Production, Raw Silk Production, and Number of Filatures in China

省 Province	区分	家蚕繭生産量 Domesticated Cocoon Production (トン、%) (MT, %)			生糸生産量 Raw silk Production (トン、%) (MT, %)		
		2009	2010	対前年比 2010/09	2009	2010	対前年比 2010/09
山西	Shanxi	4,046	5,894	146	266	182	68
河北	Hebei	1,200	1,500	125	-	-	-
江蘇	Jiangsu	73,175	77,399	106	17,800	16,000	90
浙江	Zhejiang	45,600	57,000	125	15,000	14,436	96
安徽	Anhui	24,800	25,000	101	5,200	6,438	124
江西	Jiangxi	7,602	7,000	92	2,900	3,591	124
山東	Shandong	23,900	22,000	92	5,800	7,510	129
河南	Henan	10,101	7,500	74	2,100	103	5
湖北	Hubei	17,150	10,600	62	555	446	80
湖南	Hunan	3,182	2,452	77	104	197	189
広東	Guangdong	53,321	39,300	74	1,722	1,711	99
広西	Guangxi	172,900	214,000	124	16,237	18,164	112
重慶	Chongqing	17,311	17,200	99	4,200	4,000	95
四川	Sichuan	70,000	71,000	101	14,900	14,900	100
貴州	Guizhou	2,751	1,460	53	105	134	128
雲南	Yunnan	30,230	40,000	132	2,237	2,138	96
陝西	Shaanxi	17,200	17,600	102	3,263	3,664	112
甘肅	Gansu	253	304	120	-	-	-
寧夏	Ningxia	126	126	100	-	-	-
新疆	Xinjiang	450	580	129	-	-	-
内モンゴ	Inner Mongolia	-	-	-	66	64	97
合計	Total	575,299	617,915	107	92,455	95,778	104

製糸工場数 (件) Number of Filatures		
2006	2008	前年比 2008/06
702	682	97

資料：中国絲綢協会資料による

注：合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移

Domesticated Cocoon Production in China (1998年～2009年)

(単位：万トン)(Unit: 10,000ton)

地域	Area	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	前年比 10/09(%)
北 京	Beijing													
天 津	Tianjin													
河 北	Hebei	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				0.1	0.1	0.1	0.2	125
山 西	Shanxi	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6	0.4	0.6	146
内 蒙 古	Inner Mongolia													
遼 寧	Liaoning													
吉 林	Jilin													
黒 龍 江	Heilongjiang													
上 海	Shanghai						0.0	0.0						
江 蘇	Jiangsu	8.2	9.0	10.1	11.9	10.7	11.1	10.1	11.8	10.4	9.5	7.3	7.7	106
浙 江	Zhejiang	9.4	9.5	11.0	9.9	7.9	7.6	7.5	8.5	8.4	6.4	4.6	5.7	125
安 徽	Anhui	2.1	2.5	2.7	2.8	2.6	2.7	3.4	3.8	3.8	3.3	2.5	2.5	101
福 建	Fujian													
江 西	Jiangxi	0.3	0.3	0.5	0.7	0.8	1.0	1.1	1.2	1.2	1.0	0.8	0.7	92
山 東	Shandong	4.2	5.3	6.9	6.9	6.7	3.5	3.7	4.0	4.0	3.5	2.4	2.2	92
河 南	Henan	1.2	1.3	1.5	1.7	1.1	0.7	0.9	1.3	1.4	1.2	1.0	0.8	74
湖 北	Hubei	1.4	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1	1.4	1.6	1.6	2.1	1.7	1.1	62
湖 南	Hunan			0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	77
広 東	Guangdong	2.3	3.1	4.5	5.3	5.2	2.7	3.4	6.9	8.1	7.1	5.3	3.9	74
広 西	Guangxi	1.9	3.0	5.6	7.4	8.7	9.2	14.8	18.5	20.5	17.1	17.3	21.4	124
海 南	Hainan													
重 慶	Chongqing	2.4	3.0	3.2	3.4	2.8	2.6	3.1	2.4	2.5	2.2	1.7	1.7	99
四 川	Sichuan	8.1	8.7	9.2	9.3	9.3	8.3	7.8	7.8	8.4	6.9	7.0	7.1	101
貴 州	Guizhou	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.4	0.3	0.1	53
雲 南	Yunnan	0.7	0.7	0.9	1.1	1.3	1.9	2.0	3.1	3.7	4.0	3.0	4.0	132
チベット	Tibet													
陝 西	Shaanxi	1.5	1.5	1.6	1.7	1.9	1.6	2.0	1.8	2.5	2.4	1.7	1.8	102
甘 肅	Gansu						0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	
青 海	Qinghai													
寧 夏	Ningxia						0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	
新 疆	Xinjiang	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
合 計	Total	44.7	50.1	60.2	64.5	61.1	55.0	62.2	73.9	77.9	68.3	57.5	61.8	107

資料：2003年までは中国国家统计局「中国統計年鑑」、2004年以降は中国絲綢協会資料による。

合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: Until 2003, "China Statistical Yearbook" National Bureau of Statistics of China

Since 2004, China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(5) 中国のシルク類(生糸、絹糸、絹織物)の輸出状況

Silk Exports of China
(2012年1月～12月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11 (%)	2012年実績	12/11 (%)
1 インド	India	4,505,837	109.52	210,390	100.64
2 ベトナム	Vietnam	783,904	125.53	38,084	124.02
3 ルーマニア	Romania	729,411	100.11	35,729	93.89
4 日本	Japan	482,249	119.68	25,830	114.45
5 韓国	South Korea	412,421	88.43	20,393	83.14
6 イタリア	Italy	309,833	99.30	15,627	90.46
7 バングラデッシュ	Bangladesh	105,212	119.12	4,869	111.62
8 ミャンマー	Myanmar	99,217	120.59	4,827	114.80
9 ブラジル	Brazil	41,321	93.39	2,253	95.72
10 ブルガリア	Bulgaria	39,232	250.59	2,008	237.55
11 その他	Others	165,357	68.19	8,442	66.12
合計	Total	7,673,994	107.75	368,452	100.47

Silk Exports of China
(2013年1月～12月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2013年実績	13/12 (%)	2013年実績	13/12 (%)
1 インド	India	3,234,255	71.78	175,674	83.50
2 ルーマニア	Romania	956,164	131.09	54,148	151.55
3 ベトナム	Vietnam	879,436	112.19	48,996	128.65
4 日本	Japan	441,864	91.63	27,008	104.56
5 イタリア	Italy	375,606	121.23	22,116	141.53
6 韓国	South Korea	322,193	78.12	18,240	89.44
7 バングラデッシュ	Bangladesh	112,589	107.01	6,218	127.72
8 ブラジル	Brazil	86,068	208.29	5,249	233.02
9 ミャンマー	Myanmar	82,686	83.34	4,641	96.14
10 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	69,375	379.55	3,757	429.44
11 その他	Others	129,996	69.77	7,560	78.96
合計	Total	6,690,232	87.18	373,607	101.39

相手国	Country	絹糸 Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11 (%)	2012年実績	12/11 (%)
1 日本	Japan	655,083	100.22	35,489	94.83
2 インド	India	399,229	45.92	19,203	43.04
3 イタリア	Italy	370,973	69.85	19,699	64.49
4 ドイツ	Germany	256,806	128.67	13,932	135.84
5 パキスタン	Pakistan	249,628	92.67	12,357	88.13
6 韓国	South Korea	188,559	103.41	9,625	98.64
7 タイ	Thailand	108,350	79.70	5,628	71.47
8 インドネシア	Indonesia	75,921	80.69	3,737	76.81
9 ベトナム	Vietnam	47,662	143.83	2,312	135.88
10 香港	Hong Kong	27,214	205.14	1,036	197.85
11 その他	Others	196,543	97.95	9,827	94.46
合計	Total	2,575,968	80.94	133,927	78.30

相手国	Country	絹糸 Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2013年実績	13/12 (%)	2013年実績	13/12 (%)
1 日本	Japan	625,692	95.51	38,265	107.82
2 イタリア	Italy	429,633	115.81	26,632	135.19
3 インド	India	315,664	79.07	17,728	92.32
4 ドイツ	Germany	221,637	86.31	14,577	105.45
5 韓国	South Korea	155,680	82.56	9,110	94.65
6 パキスタン	Pakistan	149,864	60.03	8,760	70.89
7 タイ	Thailand	97,648	90.12	5,910	105.02
8 インドネシア	Indonesia	64,493	84.95	3,660	97.93
9 リビア	Libya	33,790	170.64	2,829	192.83
10 トルコ	Turkey	32,426	651.12	1,963	678.20
11 その他	Others	215,646	87.43	12,115	102.85
合計	Total	2,342,173	90.92	141,549	115.90

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル) (meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11 (%)	2012年実績	12/11 (%)
1 パキスタン	Pakistan	60,795,118	123.71	221,429	136.62
2 イタリア	Italy	30,611,776	91.29	173,999	93.77
3 インド	India	22,883,399	71.21	107,334	74.15
4 香港	Hong Kong	14,413,983	98.38	104,429	102.96
5 韓国	South Korea	11,463,400	82.42	76,701	91.32
6 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	9,815,910	134.63	61,898	169.70
7 日本	Japan	9,265,038	89.70	43,154	92.75
8 マレーシア	Malaysia	7,114,607	111.84	38,315	100.89
9 アメリカ	United States	5,571,051	89.10	42,063	95.11
10 トルコ	Turkey	3,799,272	73.73	21,575	79.00
11 その他	Others	1,251,674	80.75	166,336	89.02
合計	Total	206,985,228	95.19	943,958	100.01

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル) (meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2013年実績	13/12 (%)	2013年実績	13/12 (%)
1 パキスタン	Pakistan	47,586,463	78.27	204,414	92.31
2 イタリア	Italy	26,638,448	87.02	160,210	92.08
3 インド	India	16,848,146	73.63	88,764	82.70
4 香港	Hong Kong	10,876,747	75.46	86,259	82.60
6 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	9,856,944	100.42	67,575	109.17
5 韓国	South Korea	8,955,041	78.12	64,641	84.28
7 日本	Japan	8,034,285	86.72	40,938	94.82
8 マレーシア	Malaysia	5,848,811	82.21	36,385	94.96
9 アメリカ	United States	4,467,178	80.18	37,605	89.40
10 トルコ	Turkey	4,270,322	112.40	27,942	129.51
11 その他	Others	23,954,769	76.61	145,636	87.49
合計	Total	167,337,154	80.84	960,369	90.83

資料:中国税関

Source: Customs General Administration in China

資料: 中国税関

Source: Customs General Administration in China

(6) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格
Spot Price of Various Silk Goods

2013年12月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)		107.28 ~ 120.40	1,716 ~ 1,926
2	玉繭(double cocoon)		89.10 ~ 96.20	1,426 ~ 1,539
3	キビソ(frison)	(多条機)multi-ends reel	91.90 ~ 100.98	1,470 ~ 1,616
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	99.35 ~ 108.53	1,590 ~ 1,736
5	ビス(bisu)		69.65 ~ 79.03	1,114 ~ 1,264
6	生糸(raw silk)	21d、工場検査	360.78 ~ 366.83	5,772 ~ 5,869
7	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	363.00 ~ 367.50	5,808 ~ 5,880
8	生糸(raw silk)	42d、工場検査	359.00 ~ 363.50	5,744 ~ 5,816
9	玉糸(doupion silk)	110d	302.65 ~ 310.20	4,842 ~ 4,963
10	土糸(native silk)	110d	288.30 ~ 295.78	4,613 ~ 4,732
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(元/メートル) (price range)
11	羽二重(habutae)	45吋(inch)10匁(mom)	31.88 ~ 34.00	510 ~ 544
12	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	26.47 ~ 28.47	424 ~ 456
13	シャンタン(shantung)	45吋(inch)16匁(mom)	45.50 ~ 48.38	728 ~ 774
14	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	50.19 ~ 52.25	803 ~ 836
15	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	43.25 ~ 44.94	692 ~ 719
16	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	36.69 ~ 38.88	587 ~ 622

注:1元=16円

2014年1月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)		97.85 ~ 115.95	1,663 ~ 1,971
2	玉繭(double cocoon)		86.00 ~ 93.78	1,462 ~ 1,594
3	キビソ(frison)	(多条機)multi-ends reel	91.75 ~ 101.03	1,560 ~ 1,717
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	97.30 ~ 108.50	1,654 ~ 1,845
5	ビス(bisu)		66.20 ~ 74.13	1,125 ~ 1,260
6	生糸(raw silk)	21d、工場検査	357.45 ~ 363.43	6,077 ~ 6,178
7	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	360.18 ~ 365.20	6,123 ~ 6,208
8	生糸(raw silk)	42d、工場検査	353.00 ~ 356.50	6,001 ~ 6,061
9	玉糸(doupion silk)	110d	289.60 ~ 303.05	4,923 ~ 5,152
10	土糸(native silk)	110d	279.85 ~ 288.73	4,757 ~ 4,908
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(元/メートル) (price range)
11	羽二重(habutae)	45吋(inch)10匁(mom)	31.53 ~ 33.44	536 ~ 568
12	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	26.38 ~ 28.48	448 ~ 484
13	シャンタン(shantung)	45吋(inch)16匁(mom)	44.92 ~ 47.92	764 ~ 815
14	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	50.17 ~ 52.50	853 ~ 893
15	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	42.44 ~ 44.81	721 ~ 762
16	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	36.94 ~ 38.82	628 ~ 660

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

注:1元=17円

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

(7) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率

Total Wage Bill of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	賃金総額 (億元) Total Wage Bill (100million yuan)				対前年増減率 (%) Indices (preceding year=100)			
	全体 Total	国有企業 State- owned Units	集団企業 Urban Collective -owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State- owned Units	集団企業 Urban Collective -owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1997年	9,602.4	7,323.9	1,283.9	994.5	3.8	6.2	1.1	24.0
1998年	9,540.2	6,934.6	1,054.9	1,550.7	▲ 0.6	▲ 5.3	▲ 17.8	55.9
1999年	10,155.9	7,289.9	995.8	1,870.1	6.5	5.1	▲ 5.6	20.6
2000年	10,954.7	7,744.9	950.7	2,259.1	7.9	6.2	▲ 4.5	20.8
2001年	12,205.4	8,515.2	898.5	2,791.7	11.4	9.9	▲ 5.5	23.6
2002年	13,638.1	9,138.0	863.9	3,636.2	11.7	7.3	▲ 3.9	30.3
2003年	15,329.6	9,911.9	867.1	4,550.6	12.4	8.5	0.4	25.1
2004年	17,615.0	11,038.2	876.2	5,700.6	14.9	11.4	1.0	25.3
2005年	20,627.1	12,291.7	906.4	7,429.0	17.1	11.4	3.4	30.3
2006年	24,262.3	13,920.6	983.8	9,357.9	17.6	13.3	8.5	26.0
2007年	29,471.5	16,689.1	1,108.1	11,674.3	21.5	19.9	12.6	24.8
2008年	35,289.5	19,487.9	1,203.2	14,598.4	19.7	16.8	8.6	25.0
2009年	40,288.2	21,862.7	1,273.3	17,152.1	14.2	12.2	5.8	17.5
2010年	47,269.9	24,886.4	1,433.7	20,949.7	17.3	13.8	12.6	22.1
2011年	59,954.7	28,954.8	1,737.4	29,262.4	26.8	16.3	21.2	39.7
2012年	70,914.2	32,950.0	1,990.4	35,973.8	18.3	13.8	14.6	22.9

資料：中国統計年鑑(2013)

Source: China Statistical Yearbook 2013

(8) 中国企業別従業員年間平均賃金及びその対前年増減率

Average Wage of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	年平均賃金 (元) Average Wage (yuan)				対前年増減率 (%) Indices (preceding year=100)							
					名目賃金 Average Wage				実質賃金 Average Real Wage			
	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1997年	6,444	6,679	4,516	9,092	7.8	7.6	4.7	6.7	4.5	4.4	1.6	3.5
1998年	7,446	7,579	5,314	9,241	15.5	13.5	17.7	1.6	16.2	14.2	18.4	2.3
1999年	8,319	8,443	5,758	10,142	11.7	11.4	8.4	9.8	13.2	12.9	9.8	11.2
2000年	9,333	9,441	6,241	11,238	12.2	11.8	8.4	10.8	11.3	10.9	7.5	9.9
2001年	10,834	11,045	6,851	12,437	16.1	17.0	9.8	10.7	15.3	16.2	9.0	9.9
2002年	12,373	12,701	7,636	13,486	14.2	15.0	11.5	8.4	15.4	16.2	12.6	9.5
2003年	13,969	14,358	8,627	14,843	12.9	13.0	13.0	10.1	11.9	12.0	12.0	9.1
2004年	15,920	16,445	9,723	16,519	14.0	14.5	12.7	11.3	10.3	10.9	9.1	7.7
2005年	18,200	18,978	11,176	18,362	14.3	15.4	14.9	11.2	12.5	13.6	13.1	9.4
2006年	20,856	21,706	12,866	21,004	14.6	14.4	15.1	14.4	12.9	12.7	13.4	12.7
2007年	24,721	26,100	15,444	24,271	18.5	20.2	20.0	15.6	13.4	15.0	14.8	10.6
2008年	28,898	30,287	18,103	28,552	16.9	16.0	17.2	17.6	10.7	9.8	11.0	11.4
2009年	32,244	34,130	20,607	31,350	11.6	12.7	13.8	9.8	12.6	13.7	14.8	10.8
2010年	36,539	38,359	24,010	35,801	13.3	12.4	16.5	14.2	9.8	8.9	12.9	10.7
2011年	41,799	43,483	28,791	41,323	14.4	13.4	19.9	15.4	8.6	7.7	13.9	9.6
2012年	46,769	48,357	33,784	46,360	11.9	11.2	17.3	12.2	9.0	8.3	14.2	9.3

中国統計年鑑2013 Source: China Statistical Yearbook 2013

(9)中国産業別従業員年平均賃金の推移

Average Wage of Employed Persons in Urban Units by Sector

(単位:元)(yuan)

産業別 Sector	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
農、林、牧、漁業 Agriculture, Forestry, Fishery	8,207	9,269	10,847	12,560	14,356	16,717	19,469	22,687
採掘業 Mining	20,449	24,125	28,185	34,233	38,038	44,196	52,230	56,946
製造業 Manufacturing	15,934	18,225	21,144	24,404	26,810	30,916	36,665	41,650
電力、ガス、水道業 Production/Distribution of Electricity, Gas and Water	24,750	28,424	33,470	38,515	41,869	47,309	52,723	58,202
建築業 Construction	14,112	16,164	18,482	21,223	24,161	27,529	32,103	36,483
交通、運輸、倉庫、郵便業 Transport, Storage and Post	20,911	24,111	27,903	32,041	35,315	40,466	47,078	53,391
情報通信コンピューターサービス Information Transmission, Computer Service and Software	38,799	43,435	47,700	54,906	58,154	64,436	70,918	80,510
卸売、小売業 Wholesale and Retail Trades	15,256	17,796	21,074	25,818	29,139	33,635	40,654	46,340
ホテル、飲食業 Hotels and Catering Services	13,876	15,236	17,046	19,321	20,860	23,382	27,486	31,267
金融業 Financial Intermediation	29,229	35,495	44,011	53,897	60,398	70,146	81,109	89,743
不動産業 Real Estate	20,253	22,238	26,085	30,118	32,242	35,870	42,837	46,764
賃貸、リース業 Leasing and Business Services	21,233	24,510	27,807	32,915	35,494	39,566	46,976	53,162
科学研究、技術サービス業 Scientific Research, Technical Services	27,155	31,644	38,432	45,512	50,143	56,376	64,252	69,254
水利、環境管理業 Manage of Water Conservancy, Environment and Public Services	14,322	15,630	18,383	21,103	23,159	25,544	28,868	32,343
家庭サービス業 Services to Households and Other Services	15,747	18,030	20,370	22,858	25,172	28,206	33,169	35,135
教育 Education	18,259	20,918	25,908	29,831	34,543	38,968	43,194	47,734
衛生、社会保障、社会福祉業 Health, Social Securities and Entertainment	20,808	23,590	27,892	32,185	35,662	40,232	46,206	52,564
文化、スポーツ、娯楽業 Culture, Sports and Entertainment	22,670	25,847	30,430	34,158	37,755	41,428	47,878	53,558
公共機関、社会団体 Public Management and Social Organization	20,234	22,546	27,731	32,296	35,326	38,242	42,062	46,074
合計 Total	18,200	20,856	24,721	28,898	32,244	36,539	41,799	46,769

(出所)中国統計年鑑2013

Source: China Statistical Yearbook 2013

上記を円(Yen)換算

産業別 Sector	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
製造業 Manufacture	212,560	273,375	317,160	366,060	375,340	401,908	476,645	541,450
合計 Total	242,788	312,840	370,815	433,470	451,416	475,007	543,387	607,997
年別人民元yuan/円yenレート	13.34	15.00	15.00	15.00	14.00	13.00	13.00	13.00

(10) 中国省別従業員年平均賃金(2012年)

Average Wage of Employed Persons Urban Units by Region

省(区)別 Region		年平均賃金(単位: 元)(yuan)	円換算(円) (yen)	対全国平均比(%) Indices(average=100)	
北	京	Beijing	84,742	1,101,646	181.19
天	津	Tianjin	61,514	799,682	131.53
河	北	Hebei	38,658	502,554	82.66
山	西	Shanxi	44,236	575,068	94.58
内	蒙	Inner Mongolia	46,557	605,241	99.55
遼	寧	Liaoning	41,858	544,154	89.50
吉	林	Jilin	38,407	499,291	82.12
黒	龍	Heilongjiang	36,406	473,278	77.84
上	海	Shanghai	78,673	1,022,749	168.22
江	蘇	Jiangsu	50,639	658,307	108.27
浙	江	Zhejiang	50,197	652,561	107.33
安	徽	Anhui	44,601	579,813	95.36
福	建	Fujian	44,525	578,825	95.20
江	西	Jiangxi	38,512	500,656	0.04
山	東	Shandong	41,904	544,752	89.60
河	南	Henan	37,338	485,394	79.83
湖	北	Hubei	39,846	517,998	85.20
湖	南	Hunan	38,971	506,623	83.33
広	東	Guangdong	50,278	653,614	107.50
広	西	Guangxi	36,386	473,018	77.80
海	南	Hainan	39,485	513,305	84.43
重	慶	Chongqing	44,498	578,474	95.14
四	川	Sichuan	42,339	550,407	90.53
貴	州	Guizhou	41,156	535,028	88.00
雲	南	Yunnan	37,629	489,177	80.46
西	蔵	Tibet	51,705	672,165	110.55
陝	西	Shaanxi	43,073	559,949	92.10
甘	肅	Gansu	37,679	489,827	80.56
青	海	Qinghai	46,483	604,279	99.39
寧	夏	Ningxia	47,436	616,668	101.43
新	疆	Xinjiang	44,576	579,488	95.31
全国平均		Average	46,769	607,997	100.00

(出所) 中国統計年鑑2013 Source: China Statistical Yearbook 2013

(注) 1元=13円 Note: 1yuan=13yen

(11)ブラジルの繭・生糸生産数量の推移
Cocoon and Raw Silk Production in Brazil

シルク年度 Silk Year (9～8月) (Sep-Aug)	繭生産量 Cocoon Production (トン)(Ton)
1991/92	17,586
1992/93	19,134
1993/94	18,260
1994/95	16,260
1995/96	15,368 (95%)
1996/97	14,811 (96%)
1997/98	14,594 (99%)
1998/99	10,305 (71%)
1999/2000	8,473 (82%)
2000/01	9,916 (117%)
2001/02	10,238 (103%)
2002/03	9,966 (97%)
2003/04	8,005 (80%)
2004/05	7,146 (89%)
2005/06	8,051 (113%)
2006/07	8,617 (107%)
2007/08	6,266 (73%)
2008/09	4,835 (77%)
2009/10	4,439 (92%)
2010/11	3,037 (68%)
2011/12	2,620 (86%)
2012/2013 [見込み] [Estimate]	2,590 (93%)

暦年 Calendar Year	生糸生産量 Raw Silk Production (kg)	生糸生産量 Raw Silk Production (俵換算) (Bale value)
1991	2,077,155	34,619
1992	2,296,053	38,268
1993	2,325,809	38,763
1994	2,535,440	42,257
1995	2,467,524 (97%)	41,125
1996	2,242,000 (91%)	37,367
1997	2,120,129 (95%)	35,335
1998	1,820,745 (86%)	30,346
1999	1,553,722 (85%)	25,895
2000	1,389,356 (89%)	23,156
2001	1,484,905 (107%)	24,748
2002	1,607,485 (108%)	26,791
2003	1,562,563 (97%)	26,043
2004	1,512,133 (97%)	25,202
2005	1,284,510 (85%)	21,409
2006	1,387,289 (108%)	23,121
2007	1,219,562 (88%)	20,326
2008	1,176,885 (97%)	19,615
2009	811,020 (69%)	13,517
2010	769,903 (95%)	12,832
2011	557,633 (72%)	9,294
2012	439,504 (79%)	7,325
2013 [見込み] [Estimate]	438,114 (99%)	7,302

資料:ブラタク製糸株式会社

注:()内は対前年比

[]内の見込みは2013年9月現在

Source: Fiação de Seda Brtac S.A

Note: Figures in parenthesis are compared to the previous year.

Estimates are as of September 2013.

(12)ブラジルの生糸・絹糸輸出数量の推移

Raw Silk and Thrown Silk Yarns Exportation

区 分		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
		kg %	kg %	kg %	kg %	kg %
日本	Japan	442,264 44%	296,578 34%	294,346 38%	249,069 49%	136,110 32%
ベトナム	Vietnam	243,950 25%	308,464 36%	217,347 28%	118,034 23%	82,959 19%
フランス	France	101,391 10%	74,747 9%	53,441 7%	87,886 17%	180,368 42%
イタリア	Italy	83,032 8%	68,418 8%	143,159 19%	42,913 9%	26,951 6%
韓国	South Korea	43,844 4%	25,259 3%	27,916 4%	0	302 0%
トルコ	Turkey	21,370 2%	16,165 2%	21,131 3%	3,660 1%	0
ドイツ	Germany	6,095 1%		3,742 0%	4,940 1%	5,417 1%
インド	India	38,072 4%	73,181 8%	3,600 0%	0	0
チュニジア	Tunisia	2,428 0%		2,609 0%	1,205 0%	0
スイス	Switzerland	11,344 1%	758 0%	256 0%	5 0%	12 0%
その他	the others	1,012 0%	3,189 0%	242 0%	117 0%	230 0%
合 計	Total	994,801 100%	866,759 100%	767,789 100%	507,829 100%	432,349 100%

資 料 : ブラタク製糸株式会社

Source : Fiação de Seda Brtac S.A

※「シルクレポート」の主要記事と統計データは、当支援センターのホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

シルクレポート 2014年3月号 NO.35 平成26年3月1日発行

編集 / 発行
(問い合わせ先)

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館6階
TEL : 03-3214-3500
FAX : 03-3214-3511
URL:<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

製本 / 印刷 株式会社 正大印刷社